3 — 579

同　森村市左衛門　副會長　安部磯雄

廓清

第六卷　第三號

□廓清時言……伊藤江南
■白珠園……日向きむ
□不良少年問題……岡見愼二
■社會改良家の任務……平山凡水樓
□愚劣なる小笠原流……三輪田元道
■戰亂後の敗頽時代……中島博士
□娼妓三百人研究……山室軍平
■私娼政策と龜戸町……大石枕月
□經濟上より觀たる婦人の獨立……塚本はま子
■數字より見た吉原……伊藤大尉
□人生の皷吹者……内ヶ崎作三郎
■三面評論……愼默生
□廓清春秋……河合北州

東京　廓清會本部　發行

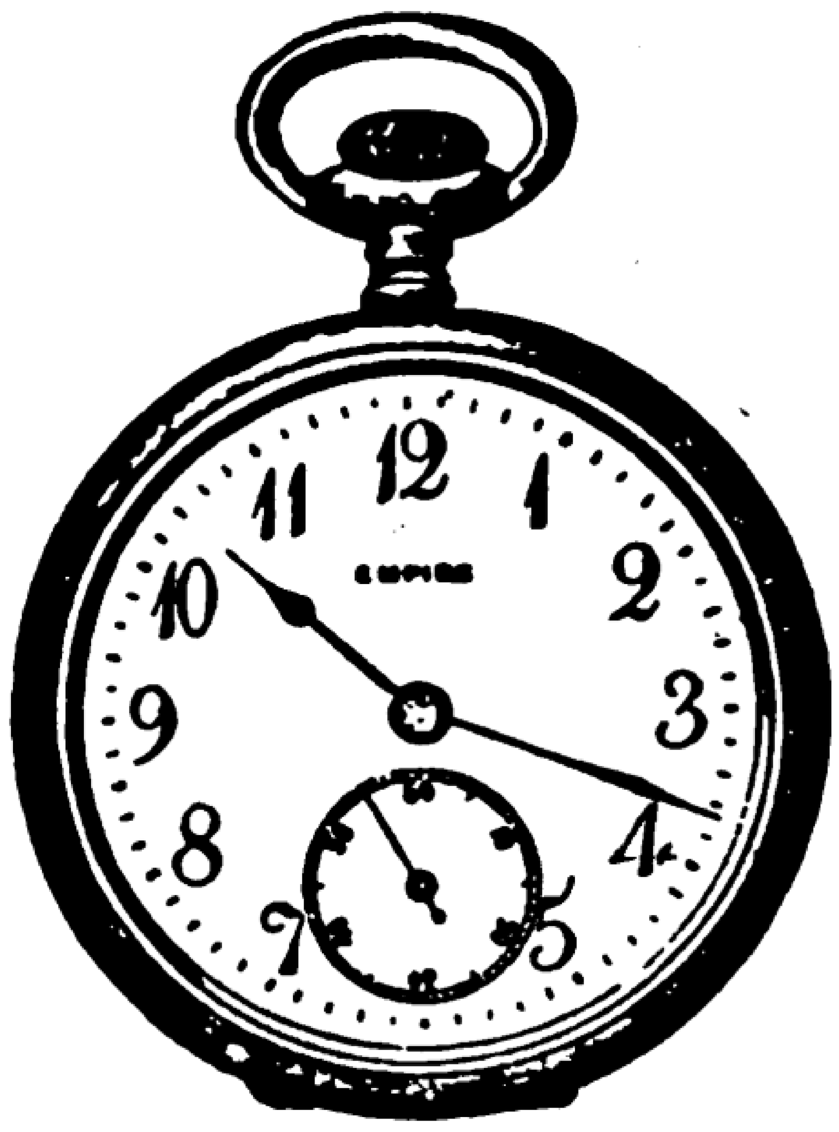
Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

精工舍

は本邦唯一の懷中時計
掛置時計製造所にして

東京大正博覽會に於て

名譽大賞牌を受領す



創業以來貳拾有餘年現今一年の
製產額五拾五萬個に達す
其製品は全國著名の時計店に在
り就て御購求あらんことを冀ふ

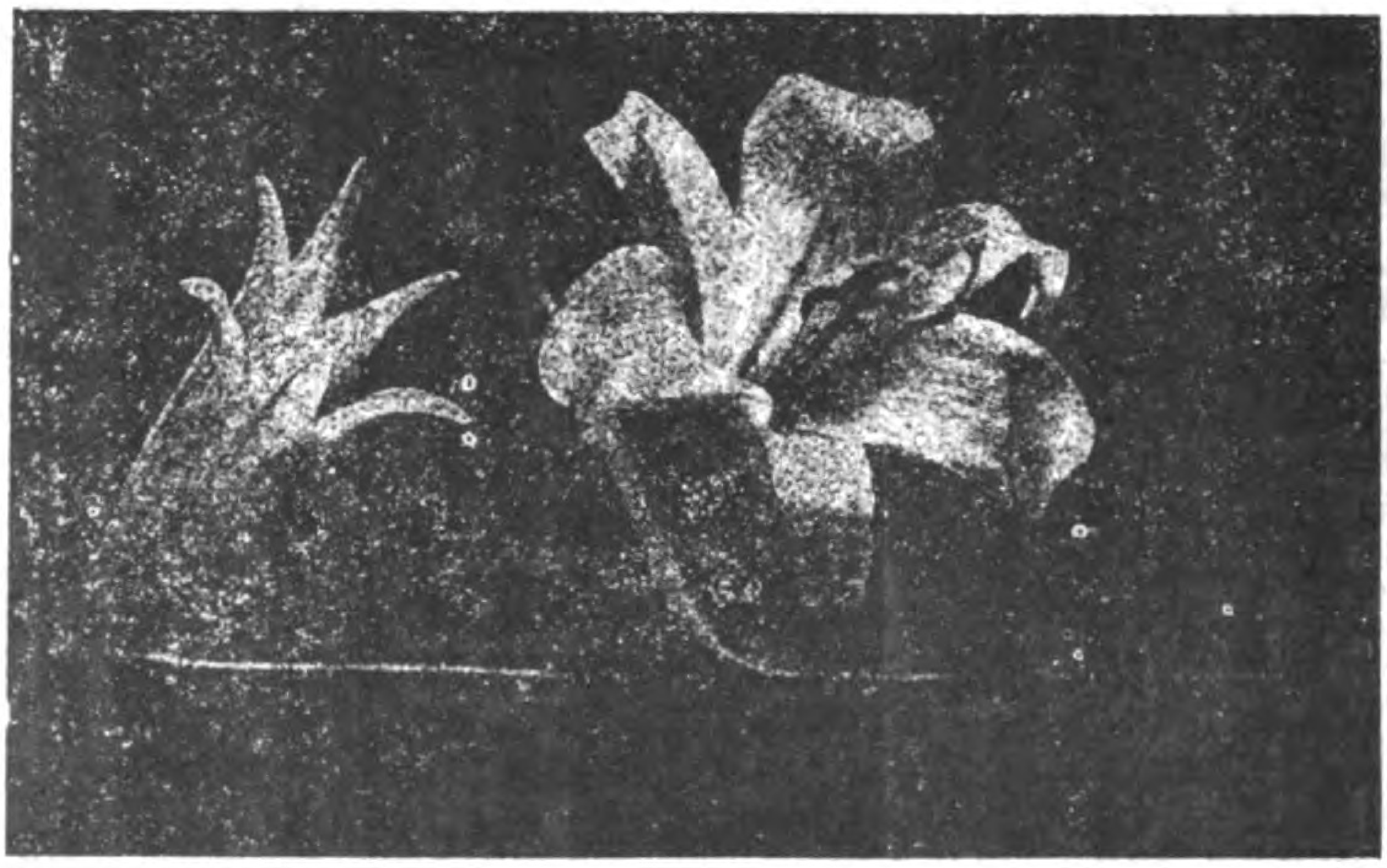
東京市本所區柳島町

精工舍

廓清
THE PURITY.

大正五年三月

第六巻第三號



廓清時言

婦人雜誌の勃興

歐洲大戰亂の勃發するや、吾人は當時その我國の婦人界と如何なる接觸あるかを見むとして、市内に發行する幾多の婦人雜誌を繙きたるに『婦人評論』が戰亂の由來を掲げ居たる外、他の多數の雜誌は悉く沒交渉に、例によつて『夫に死別れて四人の子を育てた私の經驗』といふ如き幼稚極まる記事を滿載せるに一驚を喫し、我國の婦人は此大動亂を全く他所に生活しつゝあるものなるか、我國の婦人は未だ全く社會的に生き得ざるものなるかを痛歎したる事ありしが、婦人問題に留意するものゝ見透すべからざる最近の傾向は、本年に入りて多數の婦人雜誌の表はれたる事にして而もそが從來の低級より稍高級化したる傾ある事なり。吾人は之を婦人覺醒の反映として其の完全なる發達を望まむとす。

婦人と政談演説

婦人が政治上の集會演説に出入する事を許可するの方針にて昨年内務省が調査に着手したる筈なるに、其後何等の消息を聞かず、恐らくは例によつて『時期尚早』の鐵柵の中に葬り去られたる事なるべし。遺憾千萬なる事也。余は婦人の選擧權を是認する論者なるが、或は選擧權問題は時期を論ずるの餘地あらん。然れども政談演説傍聽の權利を奪ふに至つては到底論議の餘裕ある事なし。彼の婦人は明智の判斷に待たず情に激し易きが故に然りとなすが如きは、口を緘して啞者なりとする男子閥の暴戾のみ。婦人を侮辱する亦甚しといふべく、人類の向上と其幸福を呪ふ者にして、

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

一人の起つて今期議會に此侮辱、此束縛より解放を叫ぶ婦人なかりしは遺憾也。

劃一主義教育の餘弊

吾人は婦人の解放を主張す、而して小兒は其大人より、傭人は其雇主より、貧者は富者より、弱者は强者より解放せらるべき事を主張す。吾人は束縛の繩を蛇の如く忌み、壓迫の石を虎よりも恐る。吾人は個性を尊重し之を發揮して人格の完成を期す、劃一主義の教育の如きは余等の呪咀して措かざるものならずんば非ず。頃者美術學校に於ては風紀振肅の爲めに所謂斷髮令出づ、醜くして滑稽なる長髮を肩に垂れ、予は超俗の美術家なりと揚々たる彼等美術學生を見る毎に、陰陽師身の上を知らず、美術家美を知らずと、嘔吐を催したりし吾人は、斷髮令を耳にして痛快を感ぜざるにしも非ざれど、個人の趣味嗜好の自由に迄立入る劃一主義の餘弊を不快とせざる能はず、然るに這回大阪某女學校に於ては、一年生はお下げ、二年生は庇を何寸、三年生は何寸といふ風に髮の結び方を一定したりと傳へらる、驚倒せざらんとするも得ず。風俗の頽廢を慨するは即ち可、個性を沒却して人間を鑄型にて鑄らんとするが如き教育は呪ふべき哉。

飛行家と浮薄女

飛行家が社會の花形として婦女子の虚榮に投ずるを奇貨とし、飛行將校の徒が折花攀柳を事とし、墮落漸く旺んならんとす。ナイルス氏の快翔に接したるもの誰か我飛行家の腐腸を慨せざるを得ん。此頃ニコ／＼雜誌社の主催にて、民間飛行家坂本某は廣く婦人の同乘者を求め、數人の熱心なる應募者を得て、大に飛行を試みんとする其日、試乘に墜落して此企てを中止するに至りたりといふ。

思ふに同乘を希望したる婦人は、航空術を研究して文明に貢献せん爲めなりとするか、眠れる我が婦人界を覺醒せんとする手段より出でたりしか、恐らくは然らざらん。新しきものを追うて新聞紙上に掲げられ、世間に名を知られんとするさもしき虚榮心と幾部の好奇心との和に出でたるは勿論の事也。之豈浮薄なる現代婦人氣質の曝露に非ずや。而して吾人の更に一擊を必要とするは坂本某の心事とす。彼は果して何の必要ありて婦人の同乘を求めつるや、余は彼が空中に於て或は其飛行後に於て微少だも異性といふ感じを有し、多少の性的刺激を豫期せんとするの意を有したるに非ざるかを疑ふ。

若し果して然りとせば、恐らくばそれ久米仙人の轍を履まんか。

抑々飛行家の使命は、今日水上に汽船の馳走を見るが如く空中を征服して文明を躍進せしめ、人類の幸福を擴大せしむるにあり。此大責任ある飛行家が、拙劣なる技倆を以てして徒らに婦人の同乘を望むが如き不眞面目の態度に協贊し、男子の虚榮飛行家に結びつけて女子の虚榮心を煽るが如き操觚者あるはニコ／＼どころか苦々しき限りといふ可し。

嫁と姑との問題

土井愛子と呼ぶ若き豪家の夫人が、姑と不和の爲めに愛兒を抱いて和田岬沖に投身したる事件は、端なくも天下の問題

となりぬ。此種の事は敢て元より珍とするに足らねど、社會問題となりて羅針盤を與ふるの機會となり得たるは、又以て瞑するに足るべし。併し乍ら論評は不幸にして何れも吾人と見解を異にし、山脇房子、鳩山春子、嘉悦孝子なんどの先輩が、悉く嫁に忍耐と誠意と足らざるの結果なりと論斷せるは、甚だ殘酷なる態度といふ可く、其舊思想吾人の斷じて與みするを得ざる處也。『誠さへあつたら必ず和合する』といふ言葉程實際に適切ならずして、多くの婦人を泣かしむる殘忍なる言葉はあらざらん。吾人は斯くの如き道德を強制せられ個性を滅却せしめらるゝ、現代の良妻賢母主義の教育を呪ふ。

此悲慘事の原因は姑と嫁と夫と、三人が揃ひも揃つて無自覺なりしに起因し、罪の輕重を論ずれば第一は姑にして次は其夫にあり。余は幼き時蘆花氏の『不如歸』を讀んで幾度か卷を掩ふて泣き、浪子と共に武男の上に滿腔の同情を寄せたりしが、今日にして思へば、武雄の如きは無自覺極まる低能兒にして、最も憎惡の感を覺ゆ。本問題に於ても亦即ち然り、姑の罪は第一に居ると雖も彼や既に因襲中の人、亦如何ともすべからず。たゞ今日の教育が依然として弱者の倫理にして強者の道德を說かず『子を持つて知る親の恩』を說き乍ら『子を持つて知る親の義務』を教へざるが如き最も罪あり。之に加ふるに『一度嫁がば死すとも歸る勿れ』といふが如き冷酷なる教育が彼女を殺したるものにして、奴隷的生活より救ふの道は、實に經濟的獨立と愛の結婚と、離婚の自由を認むる事に非ざる乎。（江南）

噫加藤弘之先生

大正五年二月九日、本會評議員、樞密顧問官正二位勳一等法學博士文學博士男爵加藤弘之先生、八十一歲の高齡を以て薨去せらる。哀悼何ぞ堪へん。謹んで弔意を表す。

先生は實に日本に於ける學界の元勳にして、我國の文明の爲に貢献せられたる事幾何なるを知らず。殊に吾人の追慕に堪へざるは公娼問題の爲に吾人を指導し、熱心に此制度の廢止を主張せられ、殊に昨年に於る藝妓排斥運動の際の如きは、頽齡にも拘らず劃策大に努めて、彼の大正會の成立の如き殆んど先生の熱誠に負ふ處多かりしに、今や既に亡しく、此偉大なる後援を失ふ。嗚呼。

大正五年三月一日　廓清會員一同

娼妓三百人の研究

救世軍大佐補
廓清會評議員　山室軍平

百人研究の時と同様の結論

今日御話し致すのは娼妓三百人に就ての研究である。救世軍に於て伊藤大尉が主任となつて、娼妓の自由廢業をなさんとする者の相談相手となつて居るが、先頃までに自由廢業を同大尉の手に依つて成し遂げたる者の數が丁度三百人に達したので其に就て一々の調査の結果を記錄して置いた者に由りて作つた統計表である。此の説明に付ては勿論伊藤大尉が詳しく爲すべき筈であるが、同大尉は不言實行の人で、實行方面には非常に活動をなすが、之を言語に表はすことに於ては不得手である。舊約聖書に彼のモーセは萬能に達して居たが、辯論と云ふ事に付ては不得手であつた事がある。然し彼は辯論以外の方面に於て大なる能力を有して居つて彼の訥言は却つて他の雄辯者よりも偉大なる能力を顯はしたのである。或人が『訥辯の雄辯』と云ふ事を言はれたが、我が伊藤大尉の如きは或は其の『訥辯の雄辯』であるかも知れぬ。其に違ひない。モーセは口が重かつたので、物を言ふ必要がある時はアロンに言はせたとある。伊藤大尉も口が重いから、伊藤大尉の代りに私がお話しするのである。私はつまりアロンの役をするのである。然しこんな話をする事は決して心善いものではない。こんな事を話す度には私は惡い氣持となる。何となく不愉快な感じがする。私は總て光明方面の事を申したいのであるのに、かゝる事を申すのは、私の本來の望みに反するのである。然し社會の爲、正義の爲であるから仕様がない。今此三百人の娼妓は皆救世軍の手を經て廢業した者で、其の三百人より得たる材料に由りて作りたる統計表の如き者があるから其をお話しするのであるが、一昨年娼妓百人の研究をなして、演説にも或は『廓清』誌上にも公表した事であるが、今日三百人の研究をなしても、一昨年の百人研究の際に得たる結論と同一であることを私は悲むのである。其に付ても伊藤大尉が獻身的の働きをなして、斯く多くの人を救ふを得たるを感謝するのである。

何故廢業者は洲崎に多いか

偖此の三百人の廢業娼妓は何處の遊廓から出來たのであるか。以前百人研究の時にも洲崎からが多かつたと記憶して居る

るが今度のも洲崎からが多のである。之を各遊廓別にすると

三百人の娼妓の遊廓地別

洲崎	百三十四人
吉原	七十三人
新宿	三十九人
品川	九人
板橋	八人
千住	二人
横濱及其他の地方	三十五人

此の計數に由つて見ると洲崎は一番多い。娼妓全體の數を言はゞ勿論吉原が多いから自由廢業をなすものも吉原が多かりそうであるが事實は之に反して居るのはどう云ふ譯であらうか。種々取調べた結果洲崎と吉原と娼妓の待遇に於ても、前借金の工合に於ても差したる差違はないが唯病院即ち驅黴院と云ふ樣な、娼妓が花柳病に罹つた者を入院治療する病院の組織が違つて居る事を發見したのである。即ち吉原に於ては花柳病の病院には娼妓の同病に罹つた者の外は入れない事になつて居るが、洲崎の方では娼妓の外に所謂密淫賣者でも花柳病に罹つて居るものを發見すれば之を娼妓と同一病院に入れる事になつて居るのである。そして洲崎の病院に於ける娼妓と密淫賣者の數の比は十と一の比をなして居るのである。偖何故に密淫賣者が娼妓と同し病院に、僅かに十分の一入つたからとて、娼妓の自由廢業者が多くなるのであらうか。此處に大なる原因を發見するのである。凡そ娼妓なる者は遊廓なる一廓内に閉塞せられ又一家内に蟄居せしめられて居て、本人は如何にも智識もなく學問も乏しく、世間一般の事をしらぬ所に、樓主なる者は種々なる詭辯を以て此の無智無識なる者を籠絡して、娼妓なる者は世の普通一般と同一であるとか、又は世間よりも氣樂なる商賣であるとか又は今に玉の輿に乘られるとか欺騙して、毎日醜業に從事せしめて居て、成るべく世間の事は知らせまいとして居る。若し之に世間一般の話や又は他の密淫賣者の話しでも聞せたならば、直ちに廢業したくなるから、滅多にそんな話をせぬ、又させぬのである。然るに吉原では病院は、娼妓の外には何人も入れないから、何事もないが、洲崎の方では、他の密淫賣者をも入院せしめ治療せしめて居るから、外部の消息を傳へられるのである。其等の消息を聞いた娼妓は『何處へ往つても娼妓より善い業務は無い』と思つて居た。又『厭でも一旦なつた者は何とも仕方のなき者である』と考へて、自由廢業など云ふ事は夢にも知らなかつた。然るに今聞いて見れば、こんな處に、かうして居る事は馬鹿々々しい事であると考へて外に出たくなり、遂には自由廢業をする樣になるのである。之が爲め吉原でも又何れの地方でも娼妓には決して外部の樣子を見せない、知らせないで、娼妓は娼妓としての團體を作つて、其外の事は決して聞かしめない、見さしめない、そして彼等をして『今娼妓となつたのは皆自分の運である』と諦めさせて置くのである。故に若も之に反し十人中一人でも外部の樣子を知らしめる人があると娼妓等は必ず外に出る樣になるから、決してさうさせぬ樣にしておく、然し監獄署でも教誨師なる者を置いて時々囚人に對し講話をさせ、囚人の良心を向上し發展せしめんとして居る。囚人でさへも尚斯くの如くなるに、娼妓

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

にはなるべく、新しい空氣を容れて、彼等の智識を增し彼等の品性を向上せしめんとはせず、なるべく世間から遠ざかり世間の噂をば聞かしめない樣にして置くのは甚だ不都合ではなからうか。然し兎に角洲崎では娼妓以外の密淫賣者を娼妓と共に入院させて置くが爲に斯く多くの自由廢業を出したのではあるまいかと思ふ。

何故娼妓は東北地方出が多いか

又此三百人の娼妓は如何なる地から來た者であるか。何縣が多く何縣が少いかを調べて見ると

東京市	四九人	山形縣	三五人
福島縣	二九人	茨城縣	二七人
宮城縣	二〇人	千葉縣	二〇人
神奈川縣	一七人	新潟縣	一六人
東京府下	一四人	秋田縣	一一人
群馬縣	一〇人	埼玉縣	九人
靜岡縣	八人	岐阜縣	六人
栃木縣	五人	愛知縣	四人
三重縣	三人	京都府	三人
熊本縣	二人	岩手縣	二人
大阪府	一人	大分縣	一人
長崎縣	一人	山梨縣	一人
北海道	一人	不詳	三人

何故に東京が一番多いのであらうか。勿論生活が困難であるから、娼妓となつて父兄の糊口の資にしやうとする者が多いからでもあらうが、之と同時に地方の女を養女の名義の下に貰ひ受け又は買受けて之を娼妓とすると云ふ樣な事も東京に行はれるから、此の四九人の中には戶籍上は東京でも其實はそうでない人があるかも知れぬ。次は東北地方が多い。山形の三五人福島の二九人、茨城の二七人、宮城の二〇人、金澤の一七人など他に比して非常に多いが、是は東北地方は時々凶作などがあつて、人々が生活に困る所から娼妓に賣る人が多いのである。又其に附込んで東京から人が行つてかゝる婦女を買出して來るので斯く多いのであらう。勿論關西の方からも昔は隨分買出して來たさうであるが、今は非常に其數が減つたと云ふ事である。或樓主が言ふには「東北種は人情が厚いが、關西種になると薄情であるから、娼妓として如何にも惡い」と云ふ。是も關西よりの娼妓が少い原因であらうが、此等の不都合な事、不人情な事をなさしめて置く娼妓に對し人情が薄いから惡いとはよくも言はれた事であると思ふ。

娼妓の家庭

次には三百人の娼妓は如何なる家庭の人であるか、換言すれば其父兄の職業は何であつたかを調査して見ると左の如くである。

農業	七二人	無職業	四二人
不詳	二八	漁業	一一
肴屋	一一	人力車夫	六
大工職	六	植木職	四
指物職	四	鍛冶屋	三
石工	三	理髮職	三
八百屋	三	疊職	三
學校敎員	三	瓦燒職	三

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

3 — 587

綿類	三	木挽職	三
菓子職	三	家根職	三
染皮業	二	相撲師	二
靴屋	二	問仲買業	二
左官職	二	竹細工職	二
樽屋	二	海苔採業	二
元巡査	一	天理教行者	一
古着屋	一	電燈職工	一
撒水人夫	一	鐵道人夫	一
氷屋	一	下駄材商	一
佛具師	一	雜貨商	一
木版印刷業	一	瀬戸物商	一
周旋業	一	饂飩屋	一
ボール箱屋	一	駄菓子屋	一
古綿打屋	一	洋食業	一
役場雇	一	縣廳雇	一
山林局雇	一	鳥屋	一
銀行小使	一	安宿手傳	一
蝙蝠直し	一	材木屋	一
元看守	一	自轉車屋	一
塗物屋	一	電氣局雇	一
肴賣屋	一	空堀屋	一
芝居衣裳屋	一	長歌師匠	一
舟大工職	一	傘製造業	一
興行師	一	骨細工業	一
機業	一	浪花節	一
天麩羅屋	一	代書業	一
按摩手傳	一	紺屋形塗	一

此の表は何を語るであらうか、第一其最も多いのは農業である。日本の最も多いのは農業者であるから、農業者の家庭から多くの娼妓が出るのは當然であるが、唯數の上からばかりではない。農業者は今日其生活が困難になつて居る。農業者とは言ひながら或者は他の田地を小作して僅かに糊口をなして居るのであるから其娘を賣つて何かの資金にしようと云ふ人を出し易い。又お百姓は比較的教育が少ないから、騙され易いのである。所謂人買が往つて、遊廓はこんな處で、かく〳〵金が取れるとか、何とか種々なる甘言を以つて之を賺して、遂に證文に印を押させ、それから目見えだの何のと云つて連れ出し、幾百圓の前借を與へると言つたのが、愈々手に入るのは僅かに三十圓にも滿たない。是はどう云ふ譯かと不平を言つても、其時はもう晩い。立派に證文があるから、其で泣寢入りするより外はなくなるのである。次には無職業者が多い。何も爲す事がなくして、遂に惡い事をする樣になるので、是も當然な事であらう。次には漁業、肴屋、人力挽、浪花節、天理教、長歌の師匠などとなつて來る。

娼妓は大抵無學が多い

娼妓なる者は昔は歌の一つも詠める者があつたが、今日ではそんな者は更にない。大抵は無學者無教育者が多く、學校に這入つた者でも大抵程度が低い中に退學した者である。其數を示せば

無教育者	小學校に一日も入學せし事なき者	一一四	一一九人
	片假名にても平假名にても名前の書けぬ者	五	
尋常小學第四年			四九
尋常小學第三年			四一
尋常小學第二年			三〇

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

尋常小學六年(元の高等二年)	二
高等小學二年(元の高等四年)	三
尋常小學第一年	二
尋常小學五年(元の高等一年)	二
高等一年(元の高等三年)	四
高等女學校	一
技藝學校	一

我國の教育は普及して居ると言はれて居るが、此數を見ると小學の教育を受けぬ者が百十四人ある。之で普及と言はれ樣か。全然文字を知らぬ者を合すれば百十九人となる。娼妓となすには何でも無教育の者に限る。かゝる醜業を營むと云ふ事は人間の恥だなどゝ考へる者には到底出來ぬ事であるから、樓主は成るべく無學にして無智なる者を撰んで抱へる。そして抱へたら最後、世間はかう云ふ者である。是の以外には善い所はないと云ふ樣に仕込んで、決して出られぬ樣にする。百十九人と云へば全體三百人の四割に當る。如何に無學者が多いかは分るのである。次に注意すべきは尋常小學三年の者が多い事である。小兒が年齡十一位までは餘り家庭の役に立たぬが、其頃からソロ〳〵仕事をさせる事が出來るので、學校の方は退學させるのが多い。そして茶屋奉公なり料理屋の手傳なりにやるから三年四年の者が多いのではあるまいか。兎に角此計數に由つて見れば、娼妓には規則などの分る者は甚だ少ないのである。否態々規則も何も分らぬ樣に仕向けるのである。是は甚だ不都合である。日本には娼妓の權利を保護する爲に規則がある。之れを彼等に知悉せしめて置いて、『此仕事が廢めたければ警察に行けば直ちに出來る』と云ふ事を書いて壁にでも貼つて置いたならば、半分位は廢めて終ふであらうが、それでは商賣が出來なくなるので、どこまでも娼妓を愚弄することを、文字通りに行つて、宗教家と云ふ人を連れて來て、忠孝の道と云ふを彼等に說き、此商賣を忠實に勤めるのが汝等の忠孝の道であると聽かして居るのである。話にもなにもなつた者ではない。

娼妓と其兄弟の關係

又三百人中兄弟姉妹の關係の知れたもの二百六十人ある。即ち左の如くである。

四人兄弟の者	四四人	兄弟なき者	四三人
二人兄弟の者	三九	三人兄弟の者	三七
五人兄弟の者	二九	六人兄弟の者	二二
七人兄弟の者	一九	八人兄弟の者	一二
九人兄弟	八	十人兄弟	五
十一人兄弟の者	一	十三人兄弟の者	一

之に由つて見ると四人兄弟の中の一人が最も多い。是は生活の困難なのが原因となつたものであらう。次に一人娘が四十三人ある。是は如何なる者であらうか。實際に立入つて見れば此の一人娘も其親の實際の娘でなくして、養女である。人の娘を貰つて來たのであるから、兄弟がない譯ではない。兄弟のある者を、其親が他に賣つたのである。

娼妓となる迄に何をしたか

娼妓となる迄に此三百人は何をして居たのであらうか。即

ち彼等の前身は何であらうか

家庭に居た者	五四人	茶屋女	四四人
農家奉公	三二	機織工女	三〇
雇人奉公	二六	不詳	二五
夫婦別れ	二三	工女	九
旅人宿	九	紡績工女	七
飲食店	七	藝妓	六
待合女中	六	生糸工女	五
烟草工女	五	看護婦	四
子守奉公	二	學校生徒	一
漁業手傳	一	活動寫眞	一
女醫	一	按摩手傳	一
行商	一		

家庭から出た者が五四人ある。彼等の中には家庭にあつてブラ／＼して居たが、嫁に貰ふ人もなか／＼ないか、又は結婚した人も貧くてこまる。一層の事娼妓にならうと云ふ樣な者があるであらう。茶屋女をした者が四四人ある。是等は娼妓となるのは仕方もない事であるが、工女からなつた者が三百人中五六人の多きに上つて居る。是は工場の待遇生活が如何にも殘酷であることを示しては居まいか。工場法が施行されたなら、こんな事がなくなるであらうか、其結果を見たいと思つて居る。工女が朝は六時頃から夜八時までも九時迄も過激なる勞働に從事して僅少の給料を得て、滅多には外出も出來ぬと云ふよりも、晝夜布團の溫みが冷めた事のない遊廓に往きたいとなるのは常然であらう。或紡績工場などでは工女が外へ出る度に見張りを付けて、轉業を防いで居るが、夫でも大工場になると一年には五六十人か百人位は行衞不明になるとの事である。其等の中から惡者の手に罹りて遊廓に入る樣になるのであらう。

前借とは何であるか

それから娼妓の身の代金の事である。是が最も不條理な者で考へれば考へる程分らなくなる。先娼妓なる者は他人の室を假りて其處で醜業を營む者である。然るに其に金を貸して連れて來るといふのはどう云ふ譯であらうか。それのみならず其貸金は娼妓を永く置けば置く程金高が增して來るのであるのに、そんな者を歡迎すると云ふのは如何にも分らない事である。そして其人が其處を出ようとすると決して出さない。大凡世間の下宿屋で客に金を貸しても客を歡迎する所もあるまいのみならず、其客が居れば居る程借金が殖えて來るにも係はらず、どうぞ永く居て貰はねば困る。他に轉宿されては困ると云ふ者があらうか。是は即ち名は貸金なれども其實は娼妓の身の代金にして、人身賣買である爲にこんな可笑な事が出來て來るのである。今其身の代金の額と、其が數年の内に如何に增減せるかを示せば

前借金	月數	增加した方
二六五円	五四月	四〇〇円
二五〇	三五	三五五
二五〇	一六	二七五
三二〇	一八	四六五
二一〇	二五	二四五
一五〇	三四	二一〇
一九〇	四七	六〇〇
一五〇	二五	二五五
二六〇	六三	三二〇
五五〇	六	六七〇
四〇〇	三三	七〇〇
一七五	三四	二九五
二六〇	九	三四〇
一三〇	二二	一八三

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

四五〇	一九	四五一	二八〇	一九	三七七
一八〇	一八	二〇〇	一五〇	二三	二〇〇
三六〇	四九	六〇〇	三三〇	二三	四五〇
一二五	一三	一三五	四八〇	一九	六〇〇
三〇〇	四四	三二〇	二五〇	四五	四〇〇
三一〇	四三	三七〇	四〇〇	一七	五〇〇
五五〇	五五	一〇〇〇	三〇〇	二二	五〇〇
六五〇	三一	一〇〇〇	二三〇	四〇	二四〇
一五〇	四四	二〇〇	六〇〇	二三	七八〇
一五〇	二九	一五〇	四八〇	一九	六八〇
二三〇	三三	二四〇	四二〇	四九	五〇〇
二五〇	二二	二五九	二〇三	三一	二七〇
二五〇	一六	三五〇	五八〇	四四	六〇〇
二五〇	四三	二七〇	一七〇	三六	一九〇
四〇〇	四五	五〇六	五〇〇	一五	七〇〇
三五〇	七	三七〇	一五〇	一九	一五〇
四〇五	二五	四六〇	四五〇	二四	四五〇
二五五	二一	四五〇	二六〇	四九	二六〇

以上は數月又は數年稼いでも其前借金が増加した者、又は依然として同様なる者である。次には幾分減少した者を示せば

前借金	月數	減じた方	前借金	月數	減じた方
一五〇円	四五	一二八円	二四〇	三二	二三六
一八〇	五	一五〇	三二〇	三六	三四七
四五〇	二〇	四三〇	二二〇	五七	二〇一
八五〇	四三	五五〇	二一〇	三一	一八〇
二六〇	二〇	二一〇	三五〇	九	三四〇
二三〇	二五	二一八	二七〇	三四	二二〇
三四〇	五二	三一七	一〇〇〇	三八	六八五
二六五	二五	二四三	四〇〇	三七	三〇〇
二八〇	二六	二〇〇	四〇〇	四〇	三九〇
二五〇	二六	二一〇	二〇〇	三七	七九
二七五	九	二五〇	五〇〇	四九	四七〇
二三〇	三七	二一〇	三〇〇	四〇	二四〇
三八〇	四三	二〇〇	三五〇	二五	二三〇
四〇〇	四三	二〇〇	二二〇	九二	一三〇
五五〇	二八	四八八	五〇〇	三四	四八〇
六〇〇	二六	五七三	四八〇	六六	四三〇
二八〇	二九	二五〇	四二〇	三六	三九〇
二〇〇	四五	一六〇			

此等の計數を考へたならば娼妓なる者が如何に悲惨なる狀態にあるかゞ分る。或者は五十四ヶ月稼いて、二六五圓の借金が四百圓に増加し、或者は三六〇圓の借金が四十九ヶ月働いて後六百圓に増加して居る。又或者は五十五ヶ月働いて借金五百五十圓が千圓になつて居る。そして減少した方を見ると二百二十圓の借金が五十七ヶ月働いて後二百十圓に減少したので四年九ヶ月間に僅かに十圓を償却した事になり、或者は九十二ヶ月稼いで二百二十圓が百三十圓になつた。即ち一ヶ月一圓は償却せぬ事になる。要するに統計八十七人中五十三人は前借金が増し、三十四人は減少して居る。増加せるは全人數の六割强、減少せる人員は同四割强になつて居る。

前借金は大抵何程位か

娼妓前借金の標準を申せば（須崎遊廓ノ部）

全金額	登錄年號	人員	最高額	最低額	平均額
五、九七三円	明治四四年	二二	四三〇	二〇〇	二七一、五〇円
七、九六〇	大正 元年	三二	五〇〇	一五〇	二四八、七五

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

六、七八〇	同　二年	二九	四五〇	一五〇	二三三、四四
三、六八〇	同　三年	一四	三八〇	一六〇	二六二、八五

人員は九十七人にして平均二百五十四圓十三錢となる。之を年期六ヶ年とし年數に割り當てれば一年四十二圓三十五錢、一ヶ月に割當れば三圓五十錢となる。吉原の方を列擧すれば

全金額	登錄年號	人員	最高額	最低額	平均
二、〇七〇円	明治四四年	五	六八〇	一九〇	四一四、〇〇円
八、八七五	大正　元年	二六	六三〇	一五〇	三四五、一九
八、六三五	同　二年	二〇	一二五〇	一二五	四三一、七五
三、〇四五	同　三年	七	六三〇	二〇〇	四三五、〇〇

人員は五十八人で、一人平均四百六圓四十九錢、年期を六年とすれば年額六十七圓七十四錢、一ヶ月五圓六十四錢となる即ち一ヶ月五圓餘の金で身を賣るのである。日本の奴隷は一ヶ月五圓程である。實に侮辱した事ではあるまいか。洲崎に至りては一ヶ月三圓五十錢となる。凡そ人間一人を奴隷として其代金が一ヶ月三圓五十錢とは情けないではないか。加之、其五圓、三圓の代金も貰ひきりに貰つたのではない。一時借りたのである。そして其を借りた後どうなるかと云へば前述の如く、八十七人中五十七人は益〻增加する。其の減少した者は全數の四割强にしか當つて居ない。其のみならず、八十七人中の二十幾人は、貴重な身體を賣つた身の代金が幾何になつて居るか、今幾何借金となつて居るかさへ分らぬのである。實に侮辱するにも程がある。樓主なる者は常に娼妓に對し二冊の帳簿を作つて置いて、娼妓の稼ぎ高を胡麻化して居るので、彼等は詐欺であり盜賊であると云はねばならぬ。

娼妓となりし動機

此等三百人の娼妓は如何なる動機に由りて娼妓となつたか之を表示すれば

父が働きがなく愚かな故貧乏の爲に	八二人
父が病氣又は負傷等の事故の爲に	一二人
父が大酒呑にて絶えず貧乏する爲に	一五人
父が商賣に失敗して金入用の爲に	七人
父が甘き故繼母の爲に賣られて	八人
父が愚か故周旋人に騙されて	一三人
母が夫を失ひ一人にて働けず兄弟を育てる爲に	三八人
母が病氣の爲に	一一人
父母共に虛弱の爲に貧乏して	六人
兩親なく親類や知人に騙されて	二〇人
水害又は凶作なるに家族が多く	六人
養女に貰はれ繼父に賣らる	八人
母の私生子故繼父に邪險にされる	九人
自分の不品行の爲に姙娠して	二人
夫婦別れして生活に苦み世話する人なき爲	八人
情夫の爲に欺かれて賣らる	三人
兄弟が多く子守り計りする故娼妓が仕合せと思つて	一人
兄が病氣の爲に氣の毒に思つて	三人
兄嫁の病氣の爲に世話になりし故	一人
兄が商賣に失敗して賣らる	三人
兄が不身持の爲に共に脅迫せられて	九人
兩親なく姉の爲に強ひられて	三人
弟の病氣の爲に	一人
大酒呑の夫に捨てられて	一人
不明の者	三〇人

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

3 — 592

此中に於て尤も多い者は、父が働きがなく貧乏せる爲に娼妓になつた者である。其次は父を失ひ、母一人にて多くの兄弟を養ふ能はざるが爲に、身を賣つて其急を救ふた者である。其他皆父母又は兄妹等が敎育もなく、娼妓の醜業たるを知らざる者が娘妹を娼妓たらしむるのであるが、此中尤も悲むべきは親類知人或は他の人買に欺かれて娼妓となつた者である。多くかゝる不幸に遭遇したる者があれば買出し人は之に乘じ、譎詐百出遂に之を買取つて娼妓たらしむるのである。

廢業の動機

次には廢業の動機である。

○病氣と借金が增す爲に	六二
病弱で働かれず借金が增す故	三五
計算も知らしめず病氣勝故	二二
稼業中姙娠して借金が增した故	五
○借金が增加する爲に	八〇
計算を胡魔化し勝手計りなす故	三三
幾軒住替へても稼きても借金が增す故	一九
働きても借金が增す故	二〇
計算を始めて聽き借金が激增し居たるに驚きて	八
○病氣の爲に	二九
病院に留められ退院が容易に來出ぬ故	九
病氣でも樓主が稼業を强ゆる故	八
毎年脚氣が起つて苦しむ故	一
關節リウマチスにて筋骨痛む故	三
腎臟病になやむ故	一
子宮病が容易に全快せぬ故	五
盲腸炎にてなやむ故	二
梅毒性神經衰弱になやむ故	三
喘息病の爲に客が取れざる故に	一
時々癪にて人事不省となる故	一
心臟病にてなやむ故	三
横痃を病み治療に苦み痛み甚き故	四
肋膜炎にてなやむ故	五
肺結核なれども樓主は休業させぬ故	三
花柳病にて氣管を害し聲が出ぬ故	二
腹部の持病が時々發作する故	七
病氣にて毛髮が拔け髷をつけて働く故	一
○樓主が壓制をなす故	一六
樓主が住換を强ひ且つ財產を押收せし故	三
樓主が住換をさせんとして紹介人を賴みし故	二
樓主が約定の金を貸さぬ故	一
父母が病氣でも暇をくれぬ故	二
樓主が苛酷に打擲する故	一
食物が惡くて辛抱出來ざる故	一
客なき時は夜明まで店に坐らせ置く故	二
姉女郎が烟管や火箸で打つ故	一
鴇母が局部を檢査するとて痛めし故	一
全盛で身受客があつても樓主が妨ぐる故	一
客がなき故樓主に住換を强ひられた故	一
○情夫との關係による者	九
情夫と同棲したさに	六
情夫が戀しく地方より迯遁れて來り	三
○救世軍の事業を聞きたるに由る者	一一
新聞を讀みて救世軍が助けると云ふ故	四
遊客が救世軍に助けを求めよと敎へた故	三
救世軍の廢業の勸めを客に贈られた故	四

朋友の娼妓が救世軍に救はれて自廢したる故	三
自宅休業中附近の人に救世軍の話を聽いて	一
救世軍が負傷して迄娼妓を助けろを聽いて	三
入院患者が救世軍に助けられ自廢した故	一二
友人が自廢して羨ましき故	三
○種々の原因によるもの	二二
娼妓稼業が何となく苦しく怺らぬ故	一一
情夫にだまされ賣られて目が覺めた故	一
長らく稼業し三十歳以上になり客なき故	二
父母の性行惡しく度々無心に來り借金が増す故	五
妹が同樓に娼妓をして居たが逃走して其借金を被せられた故	一
馴染客が一人情死をしたを見て恐ろしくなつた故	一
遊客の會社員が社金を費消して懲役になつた故	一
計　五十二通り　人員　二百九十人	
原因不明の者外に十人あり	

之に由つて見ると多くは病氣になつた爲である。一體あんな事をさせて置いて病氣にならないのは不思議である。健康を保つことの出來ぬのは當り前である。其も物事を知つて居る者であるならば衛生の道を心得て居る者もあらうが、眞に無學無智の者が多いのであるから、病氣になるのは當然である。病氣で毛髮が拔けて終つたのに鬘をかぶせて稼がせ、肋膜で苦んで居ても休ませぬ。肺病が三人あるなど、何と言ふてよからうか、之を讀む時私共は身の毛がよだつ様な思がする。三十一歳までも稼いでも。客がなくなつても、まだ借金は無くならないで苦んで居るのもある。何たる無慘ぞや。

娼妓となつた時及廢業した時の年齢

それから娼妓になつた年齢は幾つが多いか。名簿登録によつて年齢を調査して見ると。

一九歳	六七	二〇歳	六九
二一歳	四四	二二歳	四〇
二三歳	二七	二四歳	一九
二五歳	一二	二六歳	九
二七歳	一三	二八歳	四
二九歳	一	三〇歳	〇
三一歳	一	三二歳	一
三五歳	一	三六歳	一

そして名簿削除せられた時の年齢を掲ぐれば

一九歳	五	二〇歳	二三
二一歳	四一	二二歳	四五
二三歳	五二	二四歳	三五
二五歳	四〇	二六歳	二一
二七歳	二〇	二八歳	五
三〇歳	二	三一歳	四
三二歳	二	三五歳	一
三七歳	一		

娼妓になる者は十九歳二十、二十一歳が一番多く、又なつてから廢業までにどれだけかゝつたかと云ふに二年目に廢業した者が九十二人、一年目位までは悲しいけれども、今に何とかなるだらうと思つて辛抱して居るが二年目になつても、益々苦しみを増すのみであるから、到底辛抱が仕切れなくなつて、二年目の上半に廢業する者が多いので、其數が五十一人あり、後の四十一人は二年目の後半まで忍耐した者である。娼妓となつて辛抱して居た年月の一番長いのは八年七ケ月と云ふのである。

娼妓が姙娠したらどうなるか

それから娼妓にして姙娠したならどんなになるか

姙娠して分娩までに休業した日數	人員	產兒生育
五ケ月	四	女子壯健 三、女子死亡 一
三ケ月	五	七ケ月にして流產
四ケ月（前二ケ月後二ケ月）	一	女子壯健
二ケ月半	一	男子壯健
二日（出產の前々日迄客を取る）	一	女子壯健

姙娠に付ては三百中此の十二人がある。其中三人は姙娠したに付他所に住替させられたる者である。此中最も注目すべきは流產の數が多き事である。そして其が何れも七ケ月にして流產して居ると云ふは不思議である。聞く所によれば姙娠七ケ月と云ふは尤も墮胎するに都合のよい時であるとの事である。又最も悲慘なるは出產の二日前まで客に接せしめられたのである。樓主なる者は鬼か蛇か。姙娠して已に臨月となつてまでも客を取らしむると云ふに至つては何とも云ひ樣がないのである。

救世軍に救を求めたる動機

此等の娼妓がどうして救世軍に助けを求めて來たかと云ふに手紙を送つて來たに由つて當方から出張面談の上廢業した者が百十三人、此內入院患者で病院より廢業した者が二十三人ある。又本人自身にて脫走して救世軍に來り救を求めたる者が百七十七人、地方小隊にて東京に送り來りたる者が十人あり。又之が廢業をなさしむる爲に救世軍士官が樓主側の者等の爲に毆打せられ、負傷したる事が三回、其が爲に病院に入院治療した日數が七十日。警察處分を不當として正式裁判を仰いだ事が五回、檢事局に呼出された數が六回、探訪せし數が二回、上告せし數が一回であつた。

結論

そこで私の切なるお願ひは、日本國の或方面には斯くの如くに弱者が壓制せられ、苦痛を受けて居て、其權利も何も踩躪せられ、彼の奴隷よりも慘酷なる待遇を受けて居て、恰も奴隷の市場とも云ふ可き所が盛んに行はれて居る。私共は之に對してどうしたら宜からうか。私共は此の惡むべき制度を改めると共に、かゝる慘酷なる境遇に居る者を一人でも早く救ひ出したいのである。どうか此處にお出での諸君中一人でも私の此言に耳を貸して貰ひたい。此の愚昧なる無學なる姉妹、寄るべなき弱者の一人でも辱めるならば其は人間ではない。若も不幸にして此中に今迄已にかゝる蠻行を敢てした方があるならば、其過ちを再び決してせぬとの決心を今晩今茲でして貰ひたい。若も今迄一度でも人を汚した事のない人は之を祝する。そして他の靑年が一人でも間違つた行に身を汚さんとする人があつたならば、全力を盡して之を防止させる樣にしたい。そして此等の奴隷市場を閉鎖して終つてほしい。廓淸會は即ち此の目的を以つて彼の惡制度を打破して弱き姉妹を救ひ出すと共に、靑年諸君をして是等の罪惡に陷らぬ樣にしたいと云ふ運動をなして居るのである。正義の士は來つて此の大運動に參加せられんことを望む（栖雲筆記）

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

人生の鼓吹者

早稲田大學教授
廓清會理事　内ヶ崎作三郎

□男子の特長

人生は男女相俟つて初めて完全するもので、男女あつて親子があり、兄弟があり家庭があり社會が存在する。いふ迄もなく男女の一方許りでは社會が成立するものでない。あらゆる人生の問題は實に男女に其端を發する。然るに男子と女子の教育を比較すると、女子には餘り教育を授けない傾向が獨り我日本許りでなく、世界を通じてある。尤も近來は、外國で盛んに其非を論じて其方面に力を注いで來たが、まだ〳〵男女が同一に解放されてはゐない。

一體男子の特長は闘ふといふ武器を持つてゐるにある。今日は歐羅巴に二千萬人の男子が盛に闘つて居る、けれども闘ひは斯様な流血の慘を指すのみでなく、頭と頭と闘ふ智慧の戰ひがあつて、昔から主として男子が之に當つた。女子は全然闘はぬとは言はれぬが、男子は女子に比して實に其闘ふ力が偉大なるを示して、今日に至つたのである。此廓清會の如きも道徳的戰爭である、有形の戰爭は決して望ましくないが男子と生れた以上は道徳的の戰に最も勇者たる可きであつて、此力の大なることが男の男たる最大の所以である。安部磯雄氏は此廓清會の爲に大に働いて居られる、氏は福岡縣人で今年父は八十七才、母は七十才で共に矍鑠として居られる。家は代々柔道の師範役といふ戰ひの家に生れられた。氏は彼のやうに温厚の人であるが、併し戰ひの血汐を道徳上に受繼いで大に廓清の爲めに闘つて居られる。

次に男子は常に冒險を好むものである、女子は稀れに飛行機にも乘るが大抵冒險的の事柄は男子に依つた爲される。此間の新聞によると女子が飛行機に同乘するといふ噂があつたけれ共、それすら中止になつた。男の方は既に昔から行つた事で敢へて珍しい事でもない。獨逸の飛行船は遙に英國のロンドンを襲ふて爆弾を投じてゐる。之に亦對抗する幾多の飛行機も皆男子である。南極を探險したのも男子、北極を探險したのも皆男子で、未だ嘗て女子の探險した事がない。日本の矢島先生は除外例であるが、我國の女子は偶々外國に踏出しても、シンガポール邊で操を鬻ぐ爲めに愚圖々々して居る。男の如く女子は冒險的で、そして研究的の態度にならない。キユーレー夫人がラヂユームを發見した位が關の山だ

第三に物を創造する力がある。昨日我々は神武天皇のお祭りをやつたが、神武天皇は我日本國の基を開き、此大帝國を出現せしめた方であつて、朝鮮を開いたのも支那も、獨逸のカイゼルも皆男子である。國を建て社會を建てる者は、皆男

子で殊に此東京をして、如斯繁華になつた其原因も、明治天皇の恩惠の然らしむる處であつて、江戸を開いた者は徳川家康であり、千代田城を築いたものは太田道灌である。創造は男子の天職であり、使命である、次には男子には力がある腕力がある。これ等の諸種の特長を具備したる男子の甚だ今日に少ないのは事實である。男であり乍ら女であるやうな、帶に襷に長しといふ、實に心細い男が多いのである。尤も理想の男子と爲るには頗る困難な事であつて、夫は何に依つて爲れるかといふに敎育に據らねばならぬのは當然である。實に敎育の眞意義は理想の男子を作るにある。

□女子の特長

併し乍ら敎育と一口にいふが、其根本は母の力、母の責任で、母は其根本を作るものである。勿論女は家庭を作るものである。實際女がないと家屋を貸し手が無い、何故といふに男世帶は汚ないからである。一週間に一偏位しか洗はぬし、蒲團杯も敷放しといふ有樣杯で何處へ行つても大家が貸さない。畢竟男子には微細な物を整頓する事を、面倒臭がるからである、之に引替へ女が家に這入ると凡て薩張りとなつて、床の上に花を生けるとか、或は掛軸を掛けるとか、品物がすべて手入をされて、金を餘り用はずに、小薩張りとするからで、さういふ事をするのが眞乎の女である。小供を育てるのも母親である、母の慈愛といふものは到底眞似る事が能ない。實に女がなければ家庭は成立しない、故に女の使命は家庭を溫める事であつて、夫を慰め溫める事が女ならでは持てぬ特長である。病氣の時杯は男では迚も駄目だ、實に女は其處へ行くと親切で良く病人を慰めいたはる事が能る。之即ち其看護婦が依つて生じた所以のものである。看護婦の起りは彼の有名なるナイチンゲールが、普佛戰爭の當時戰場に赴いて負傷者を大に傷つて遣つた事に起因する。其當時負傷者は孃が巡回に來ると、熱が下るといふ位に効顯があつた。畢竟するに孃には天使の如き愛があつて、光明を戰場の病床に輝かしたのである。婦人は實に人生の皷吹者である。

去年の歐洲に於けるクリスマスの時に歐羅巴には何處の家庭にも一つの空椅子があつた。夫は家庭の男子が大抵戰場に出陣した爲であつて、去年のクリスマスは如何に寂漠を感じたであらう。けれども歐州の婦人には偉大なる力を認めぬ譯には行かぬ。彼等は立派に其家庭を守り後顧の憂なからしめ、其夫を國家の爲に盡さしめてゐる。婦人は實に人生を皷吹する力がある。尤も之は歐洲の婦人に限られたものではないが此際特に其感無きを得ぬ。斯樣に女子には人生を皷吹する偉大なる特力がある事は明白な事實であつて、母が纎弱な腕を以て子を育てる力杯は實に偉いものである。父親が早く死んでも母親は其子を敎養するのに全力を注いで責任を全うする。幾多の父なき子が母親に勵まされて、偉大なる人格を作つた。

學生に毎月父から手紙が來る、其中には必ず金が這入つて居るのに之を受取つても左程有難いと思はぬ。然るに母親から來る處の手紙は、金も這入つて居らぬのに之を讀むと嬉しくて涙がこぼれる。これ女は人生をインスパイアするものだからである。今日新聞紙上に掲載さるゝ處の三面記事なるも

のは、其善惡に係らず女が入つて居る。遂五六日前の新聞に斯様な事があつた。夫は斯うである、或る息子が母を押入に閉込めて遂に餓死に至らしめたといふ事で、其原因は母といふのは以前御殿女中を勤めた事のある頗る美人であつた。處が若様のお手がつき、子が生れた。夫が其息子である、然るに女は子が出來ると、若干の金をつけて御殿を下げられた。女は金の有るに委せて湯水の如く費消し、綺羅を飾り或は役者狂ひをやつたりして放埒の限りを盡してゐた。息子は次第に成長して一人前になつたが母の放蕩はいつになつても止まぬ。愈々色情狂者の如くに增し募つて、息子に迷惑をかける事甚しいので遂に息子は其母を殺したのである。併し乍ら此慘劇の原因を尋ねて見る時に、何人が其責めを負ふべきであらうか、母の不行跡の端は御殿女中たりし時若様なる者に操を破られたにある。責任は實に此の若殿様にあるではないか、これは人生の活問題であつて、若しトルストイとかドスドイエフスキーとかモーパッサンが今日、此日本に在つたなら『復活』以上『罪と罰』以上の偉大なる小說が出來たに違ひない今日の小說家抔は如斯好材料の在るにも係らず、愚劣なる西洋の飜譯などをして喜んでゐる、情ない小說家であるといふよりは寧ろ國辱問題と云はねばならぬ。

　女は實に人生を皷吹するものである。而して女の要素は第一美でなければならぬ、女の美は實に男子を皷吹する、美といふ事は勿論肉體のみの謂ではない、女は容貌に於て醜くとも精神に於て、どんなにでも美しくなる事が出來る。女子が偉くなれば支那、朝鮮、印度も亦興隆する、歐羅巴に行はれつゝある大戰爭を解決する事も能るのである。

□女子敎育の如何

　藝妓が現今日本に四萬何千人といふ大多數を算へ何十萬の男を墮落せしめやうとして居るが、國家の大問題である。今日政治家は藝妓を弄びに行くと云ふより弄ばれに行く、併し女に依つて慰安を得るといふ事は强ち、惡い事ではない。グラットストーンを偉大ならしめたのは妻である。彼は妻に慰められ勵まされ、妻君にインスパイヤされるが爲めに議會に出て長時間大雄辯を揮ふ事を得たのである。之を弱い人間であるといふなら誤りである。日比谷原頭三百有餘の中果して藝妓の力を借りないで僅の會期を過し得る者、幾人ありや。婦人の力を借るのは決して惡い事ではないが、たゞ之を家庭に於て遣りたいのである。金を費つた上、病氣を引受けたり實に馬鹿氣た話ではあるまいか。只今日の婦人は男子を充分にインスパイアするには敎育が足りない。女の高等敎育は今日の急務である、高等女學校位では駄目だ、之等の原因は畢竟する處男子の急求が低いからで、なあに女は御飯でも炊いて、手紙でも書けりや夫で充分だ抔と云つて居るから困る。尤も細君が偉くなると我儘が出來なくなる自分の行爲に批評を下されるのが厭で、盲從する程度の者を求むるのである。今日嫁と姑の間が甚だ圓滿でないのも本を讀まぬからで、姑なるものが朝から晩まで長火鉢の側に何の用もたく喰へ煙管で居るからである。女子が敎育によつて向上し、男女互に相倚つて人類の幸福を增進して行きたいものである。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

不良少年少女と其取締

岡見愼二

□米國に於ける兒童裁判所

我國では數年來不良少年少女の問題で惱んで居りながら、未だに政府に何等具體的の救濟法や設備に着手したと云ふ事を聞かない。此儘に捨て置いては帝國の將來を雙肩に擔ふべき小國民の前途甚だ寒心に堪えないが故に不肖をも顧みず諸君の御參考までに米國に於ける不良少年少女と其取締りに付いて所感を述べて見たいと思ふ。

本問題に入る前に少々概括的に懲罰に付て考へて見るに、昔は懲罰を以て犯罪に對する復讐であり、然して犯罪者を嚴罰に處すると云ふ事は未來に於ける犯罪の數を減少する事が出來ると思ふてゐたのであるが、多年の經驗は豫期に反し犯罪者を嚴罰するも犯罪の數を減少しないばかりでなく、再犯者の數の如きに至るまで減少を見る事が出來なかつた。否寧ろ其等の數を增加する有樣であつたから、識者は其非を悟り、近世に至りては主義方針を變じ、懲罰に手加減を加へ懲罰に重きを置かず犯罪者を悔悟せしめ、再び罪を犯さゞる樣にすると云ふ事に全力を盡すやうになつたのであつて、此事は充分讀め御承知を願つて置きたい。

元來人の性質は生れてから十六七歲位になる迄に略定まるもので有るから、此時代程子供に取つて重要な時はない。米國に於ては每年不良少年少女が告發せらるゝ數は、十六七歲以上の者の犯罪よりも三倍或は五倍すると云ふ事である。斯かる多數の子供の犯罪行爲を適當に取締り、改過遷善彼等をして將來善良なる市民たるを得せしめたならば、國家將來の發展に偉大なる影響を及ぼすべきは明白であらう。

（注意）米國に於ては一般に十六歲までを子供と見做す然し或州に於ては男子は十六歲女子は十八歲まで子供として子供の裁判所に送るものがある

今此問題を語るに當り子供の裁判所を中心として述べる方が便利の點が多いから其方針で筆を進めやうと思ふ。

米國に於ける子供の法廷の發達史は甚だ興味あるものであるが餘事に渉るから抄略し、話の都合上少々米國に於ける子供の裁判所の種類に付き申し上げやう。米國に於ける子供の裁判所と一口にいふと一種の樣に考へられるが現在米國に於ては二種の異つた裁判所がある。第一種の方は十九世紀中葉に米國東部の大都市に起つたものであつて、子供の犯罪を一般の刑事裁判と區別し特殊の子供の裁判所を設けて犯罪を取扱つた。其の目的とする所は不良少年少女をして年長犯罪者より間接直接法廷に於て感化を受ける樣な事のなからしめ

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

んとするのである。故に此の裁判所も普通の裁判所と大同小異で、裁判官は巌めしく高き所より子供を眼下に視下し、其の周圍には正服の巡査、監視人あつて子供を警戒して居る。而して此の裁判所では子供の犯罪を罪あるものとして取扱ひ、裁判官は判決を下し犯罪の輕重に依りて罰を課するのであつて、不良少年少女の取扱ひ上確かに一進歩である事は疑ひを挿む餘地がない。而して此制度は久しい以前よりマサチユセッ州に於て行はれ、其の後ニユウヨウク市も此の制度を採用した。此の制度を採用して居る市なり州なりでは子供の犯罪に對して一般丁年者の犯罪と差したる區別をしない。從つて新聞紙は不良少年の記事を掲載する事に關して充分なる取締り法が無く日々の新聞紙上には捕縛付きなどで誇大した記事が顯れるを常とする。斯かる裁判所を名けて一般に Children's Court と稱へられてゐる。

然るに千八百九年イリノイズ州に於ては不良少年少女の取締りに付き新機軸を出せる法律案が通過した。此の新法律に依りて設立せられたる裁判所を私は假りに第二種の裁判所としやう。扨て此の制度は以前の小兒裁判所の制度を根底より變じたものであつて、普通には Juvenile Court といふ。此の法廷の主眼とする所は子供の犯罪者を罪あるものとして取扱はず、只だ知らず知らずの間に彼等の周圍の刺激によつて無邪氣に不良なる行爲をなしたるものとして、彼等を說諭し、彼等を善良なる者たらしめんと努むるのである。何となれば子供は彼等が生活せる四圍の狀態により、善惡の標準をさへも定めるものであつて甚しきに至つては自己の行爲の不良なる事すら知らぬ者がある。今不良少年の多くの場合に於ける心理狀態を考へて見るに、彼等は自分の仲間の者の出來ぬ樣な宜しからぬ事を冒險して、功名手柄でもした樣に思ひ、心密に得々として愉快に堪へぬのである。勿論斯かる不良なる野心は憎むべきものであるが、此の野心の起る動機と申すものは實に機會を利用して天才を發揮し、天下に大事をなさんと欲する英雄の野心と其の動機を等うす。されば若し不良少年を悔悟せしめ其の野心を望ましき事に向はしむる樣指導すれば、必ずや天下に有要なる人物となす事が出來得るのであるから、不良少年は罰するよりも是を說諭する事が最も必要なのである。且つ又子供を罪人として罰すると云ふ事は、子供をして自ら一かどの罪人(Criminal Hero)となつたと云ふ考を起させる譯であつて、子供が一度かゝる考へを起す樣になると最早改善の見込みが付かぬ樣になるものである故に第二種の裁判所に於いては法廷內には正服巡査の影をすら見る事の出來ぬのみでなく、巡査をして決して不良少年の事件に關與せしめぬ樣にして居るし、裁判と云ふても裁判官が正服で高い所より嚴めしい樣子をして子供を眼下に視下すと云ふ樣な事はせず、平服のまゝで子供と向び、親しく質問し說諭するのであつて、法廷の手續の如きも全く規則攻めと云ふ樣な事はない。それに子供の多くは監視人(Probation Officer)兩親、或は後見人に連れられて法廷に參り、巡査に連れられて來ると云ふ事は決してないのである。今一例としてミシガン州のデトロイト市に於ける州立裁判所に付き、私の見た所を簡單に申し述ぶれば、法廷は廣い部屋である

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

が裁判する所は小さな所である。即ち正面のプラットホームの上には裁判官のテーブル及び其側に裁判官の椅子と等しき椅子が置かれてあつて、不良少年少女は此の椅子に腰を掛けて取調べられるのであるからプラットホームの近傍でなくては何を話して居るのやら少しも聞えない。斯くの如き方法で裁判官は親しく子供の心理狀態や事實の眞相を取り調べ、或る時は親しく子供の肩に手を當てゝ同情し、或時は叱咤奮勵し、或は懇々說諭してなほ及ばざるを恐るゝ樣な有樣である。

又シカゴの裁判所にては私が始めて裁判所に參つた時は男女を一所に取り扱つて居つたが、其の後二年を經て行つた時は男子部と女子部とは全く區別せられ、男子には男子の裁判官あり、不良少女は別室に於て男子の裁判官の助手たる婦人の裁判官が、親しく裁判をして居つた。其の理由は少女の犯罪者の多くは不品行に關する件が多く、從て男女同室で同時に裁判をなす事は直接間接彼等の精神上に及ぼす惡影響あるを恐れてゐる爲めである。

斯樣に第二種の裁判所は用意周到であるが、猶ほ不良少年少女の事が世評にのぼり爲めにひいて不良少年少女の精神に惡影響を及ぼさんことを恐れ、彼等の裁判所の記事を新聞に記載する事には深き注意を拂ひ、或る州の如きは全く新聞に斯かる事件を記載せしめぬ所さへある。

玆に一言御注意を願ふ事は、第一種の裁判所と第二種の裁判所とを名に依つて區別する事は困難であると云ふ事である。例へばボストンでは子供の裁判所を Juvenile Court と申して居るが、其の實全く第一種のものと同一なる制度を採り、不良少年少女を罪あるものとして裁判し判決を下して居る。かゝる次第であるからたゞ名に依つて裁判所を區別する事は其の當を得ぬのである。之れを要するに米國に於ては、第二種の裁判所の制度は合衆國の中部たるイリノイズ州を中心とし四方に傳播して已まざるの勢をなして居る。紐育市の子供の裁判所の如き、制度上から云へば第一種に屬すべきものであるが其の精神に於ては第二種のものを採用せん事を努めて居ると云ふ事は、私の親しく目擊した所で有る。而して私が之れから語らんとするのは即ち此第二種の裁判所に關するものであると云ふ事を御承知を願ひたい。

□子供の裁判所と裁判官

子供の裁判所に於いては裁判官は子供に對して其の兩親の地位にあり、且つ教育家の地位に有るものであるからして、裁判官を撰ぶには其人格に大に注意しなければならない。而して裁判官の任期も永續的でなければならない。そうでないと子供が再び惡いことをして法廷に來た場合に、之れが教訓に困難を感ずるのである。此の點が實に子供の裁判所と普通の刑事裁判所と異なる所である。刑事の場合に於いては一度判決が行はれたならば事件は結了するが、子供の法廷に於いては子供が裁判所に來た時が其の子供に對する事件の開始であつて、決して結局ではない。例へば此處に一不良少年が裁判所に參つたとすると裁判官は其の事件につき子供の行爲に對して判決を下さないで、之を說諭し其の將來の方針を示し、裁判官の考へにより或は監視人を附けて歸宅せしめ或は各種の感化院に送るのである。此場合に於ても子供と裁判官とは殆んど合意でするのであるが、斯かる次第であるから裁判官は決して子供を罰するのではなく、彼等に注意を與へ、彼等に對する訓練教化は此時から始まるのであつて彼等

を善良なる市民とする迄は引き續き其の注意を怠る事は出來ないのである。

□子供の裁判所と不良少年の兩親

そこで子供の裁判所は其子供の家庭に於ける監視的注意の必要を生ずる。常に不良少年の兩親と親しき關係を持たねばならぬ事になるのである。家庭と云ふものは一般的普通の場合には子供の爲め最良なる訓練所であるが、或る場合には家庭よりも感化院の樣な所の方が適當な場合が有る。殊に不良少年中下層社會に屬する者の家庭は、彼等の精神の訓育場にあらずして却つて彼等の罪惡の家庭醱酵所をなす事がある。又或る種類の場合には善良なる家庭も子供の訓育に困難なる事がある。又或る場合に於ては子供の周圍の狀況が不良なる行爲を爲さしむる原因となるのであつて、兩親は子供の惡しき行爲に對して少しも知らぬ事がある。此の場合に於て裁判所は兩親に家庭以外に於ける日常生活の狀態を知らしむる必要があるのである。然るに不良少年の兩親の大多數は子供の教育と云ふ事には無頓着であり、或は全く無智である場合が普通であるから、裁判所が此等の兩親に對する態度は積極的であり又彼等を鼓舞指導して重き義務ある所を知らしむる必要があるのである。かゝる兩親を指導する事に付いては裁判所は時々困難を感ずる、兩親が子供に不良なる行爲を勸めた樣な場合に於いては子供よりは兩親の責任が大であるからして、却つて兩親を罰する必要が有るのであつて、兩親に罰金等を課する制度になつて居る。

□監視人（Probation Officer）

子供の監視人は裁判官の代人であるから無暗の人を撰ぶわけには行かない。監視人に必要なる要件は先づ常識が圓滿に發達し、且つ身體が健康である人、及び子供に對し熱烈なる愛情を有し、然も仕事に敏捷である人でなければならぬ。此等の要件を備へて居る樣な立派な人物を薄給なる監視人に於て得んとするのは殆ど至難の事である。米國では監視人たらんとする人は一定の試驗を經た後裁判官又は學務局（School Board）によつて推薦せられるのである。英國では社會上に地位ある婦人にして志願して此仕事に從事する立派な無給監視人を使用して好成績を擧げて居る。併し此人等は社會狀態の異れる米國に於ては殆ど望むるが出來ない。此等監視人の義務と云ふものは自己の依賴せられたる子供の一般的性質及習慣、評判朋友及び學校の成績等に至るまで精通し、而して其家庭の狀態をも知り彼等の兩親に親しく注意を與へ、或は子供に對しては日常の生活に付き注意諌告して彼等を指導して善良なる市民たらしむると云ふのである。監視人の義務は斯る重大なものであるから宜しく高尚なる男子を少年の監視人とし氣高き婦人をして少女の監視人として事に當らしむべきである。

監視人は完全に其職務を遂行するため、學校の教員日曜學校の教師と親しき關係を結ぶ事は勿論の事、あらゆる感化事業に從事して居る人々と最も親密なる關係を有する必要がある。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

□裁判所と救濟事業の關係

裁判所は子供の教育所である處の公私立の遊戲場又は避暑地等の場所の狀態を進歩改良せしむる事に注意を拂ふべき事は勿論の事である。子供のある者は幼少の時より既に惡性を有するものがあり、かゝる場合に於いては裁判所は不良少年を善良なる市民とする目的を達する爲めには是非種々なる種類の感化事業と密接なる關係を結ぶ必要がある。此等の感化事業の事なるものは宗教的感化院、普通の感化院、Industrial School for Boys, Training School for Girls, Parental School. 自治制度を採用せる感化院例へば George Junior Republic, Ford Republic. 等であつて其子供を感化する主義方針はそれぞれ異つて居るが其感化の力は偉大なるものである。近世に於いては米國では州立又は市立の Industrial School for Boys, Training School for Girls. 等が有る。然し此等の感化院は獨力では到底其の需要を充すとが出來ない。故に私立の感化院の助けを借りる必要があるのである。のみならず感化事業に對する意見の一定せざる現今の有樣に於ては、州立感化院と主義方針を異にする種々なる私立の感化院と相倚り相助けるの必要がある。而して是等の感化院中には吾人の大に學ぶべき點が少くない。

□子供の裁判所に於ける統計

一體統計と申すものは時々吾人を誤まらすものである。何となれば確實なるべき數字を以て吾人の面前に表はれるからである。然し統計の取方や統計を取た時期や其の當時の社會狀態種々なる事が説明せられて居らぬ單純なる統計程無意味な者はない。統計學者は常に此の事に付て深い注意を拂ふのであつて、子供裁判所に於ける統計など餘程注意して見なければならぬものである特に此の場合に注意すべき事は吾人は短年月の間の統計を見て其の結果を判斷せざる事である。何となれば前にも申した通り改善したりと思ひし少年が何時法廷に現れるやも知れぬ故、其の結果を判斷するには少くとも七八年乃至十年間の統計を以て判斷する必要があるのである。

今一寸近年に於ける統計を見失つたからシカゴ市に於ける子供裁判所の開始以來、一千九百〇九年十二月一日迄の間に於ける十年間の統計の結果を御話し致さう。此の十年間に於て合計三萬一千二百五十七人の不良少年少女が裁判所の厄介になつた。其の當時の子供裁判所の委員の報告に依るに過去八年間に於て不良少年の數は不良少女の數よりも多數である。千九百八年一月迄の統計に於て監視人を付けられた子供の總數の八割は再び裁判所の厄介とならず改善致した樣である。然るに千九百九年の七月迄の統計に於て監視人を付せられた不良少女中で其の僅かに五割が改善して再び裁判所の厄介とならなかつたとの事である。此の統計の示す所は不良少女を改善せしめる事が不良少年を改善せしむるよりも困難であると云ふ事であつて、孔子が女子と小人は養ひ難しと申したのも此の邊の消息を語つたものかも知れない。併し實は之れには同情すべき理由があるのであつて即ち女子は體質上の理由からで男子に比しては感情的であり、何に事も理性に訴へず情を以てするのが女子の性癖である。然るに男子は之に反して理性を以て事を爲す。女子の行爲は時々とヒステリカルであり、時としては自から何故斯かる行爲をなしたかと聞

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

くと何等理由のない事がある。斯様な次第で監視人の下に家庭に於て不良少年を改善せしめ様とする事は先づ困難なことである。一例を取つて見ると不良少年の中にも不品行の者が多くあるが彼等を指導するに其の道を以てすれば理性が強い故意外に改善をする事が容易である。然るに少女の不品行なるものに至つては之れを改良する事は甚しく困難であつて其の理由は前申上ぐるが如く理性に乏しきに歸すると思ふ。故に若し不品行な少女を見出した時彼女を監視人の下に家庭に歸へして之を改善せしめんとするは誤りで、出來る事なら善き感化場に送り改善せしめた後ち家庭に歸し、監視人を付して猶ほ彼女を指導する必要があるのである。而して監視人は氣高き婦人を以て之れに當るべき者で決して男子を以てすべき者ではない。米國に於て斯かる女子を感化する爲め名ある州の州立或は市立の「Training School for Girls」に於ては、最新式の方法と稱し特別の女醫ありて子供の體質、性質心理狀態を研究してゐる。そして少女に以前なしたる事は總て忘れ新生涯に入るべき事を說き、又は種々なる精神教育をなし女子の改善を計つて居る。而して住所の如きもCottage Systemを取つて其女子の性質に依りて區別する方針を採つて居る。シカゴ州立「Training School」New York Training School などは此の種のものとして有名である。

次に醫士の不良少年少女を診斷した結果を語れば不良少年少女と其の健康狀態とは面白い關係を有するものである。シカゴの子供裁判所に於てジエムスブリトンと云ふ醫師が此の點に付き注意し研究した結果をつまんで云へば、同氏は一千九百九年の一年間に三千六百四十六人の子供の身體檢査をした所其中二千三百六十七人は齒が惡かつた。氏は此の點を說明していふのに齒の痛むといふ事は不規則に學校へ出席すると云ふ事になる、此の不規則登校と申す事が不良少年となる樣な結果を持ち來すのである。而して一千百三十七人（即ち殆ど三分の一）の子供の身體は醫師の藥を必要とするものか或は外科の手術を要する病的の子供であり、僅かに全數の四分に當る百四十二人と云ふ者が、健全なる子供であつたと云ふ事を云ふて居る。之れは實に不良少年少女には健全なる者が少く、彼等の大部は病的であると云ふ事實を語るものである。而して此等病的の子供の多くは眼、耳、鼻及び咽喉を害して居るものである。併し或る者は皮膚病又は傳染性の病氣を有して居る。而して同氏は之等鼻、耳、咽喉及眼病にかゝり居る原因をば家屋の設備不完全にして空氣の流通や光線が充分ならず、且つ食物がよろしかざるに依るものであると云ふて居つた。併し同氏の云ふに大多數の少女は不品行の結果より生じたる危險なる病的の爲めに惱んで居るそうである。

要するに不良少年少女の取締及び彼等を改善せしむる事業は、決して孤獨的の態度では不可能であつて、裁判所を中心として總ての種類の社會事業をなして居る者が協力して相賴り相助けて行くと云ふ覺悟が無い以上、容易に其の目的を達する事は出來ないのである。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

早稻田大學學生募集

部	科	修業年限
大學部 高等豫科	政治經濟學科	大學部三ヶ年
	法學科（獨法、英法）	
	文學科（哲學、英文學、史學及社會學）	高等豫科一ヶ年半（四期に分つ）
	商科	
	理工科（機械、電氣、採鑛、建築）	
高等師範部 第一部	國語漢文科	本科三ヶ年
	英語科	
	豫科	豫科半ヶ年
高等師範部 第二部	數學科	三ヶ年
	理化學科	

●高等豫科各科第一期

●高等師範部第一部豫科、第二部一年

中學程度諸校卒業生は四月中無試驗、其他は三月十五日（水）午前八時入學試驗。●高等豫科理工科は前記諸校本年及び昨年度優良卒業生に限り學力銓衡の上四月十三日（木）まで無試驗（期日前と雖も滿員の節は無試驗扱謝絕）、其他は四月一日（土）午前八時選拔試驗、○尚ほ詳細は各科事務所に照會せらるべし、●規則書入用の向は郵券參錢封入の上請求せらるべし。

大正五年三月

東京 早稻田大學

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

愚劣な小笠原流

三輪田高等女學校長
廓清會評議員
三輪田元道

□禮儀の意義を知らず

私は大正の今日に、小笠原流など丶いふ禮式があつて、是非共婦人の心得て居らねばならぬものとなつてゐるものを滑稽に思ふのである。

徳川時代に於ては家に格式があつて、それを誇りとし譽れとしたのであるから禮式の如き人に見せる爲めの作法が發達した。婚禮の式なども正式にやると、四式あつて、第一が夫婦の式、第二が親子の式、第三が兄弟親戚の式、第四が一般披露の式になつて居り、其厄介さ、金のか丶る事一通りではない。

嘗て横濱の富豪平沼專三氏が金に飽かせて小笠原の本式によつて結婚式をやりたいといふので、小笠原の先生に頼んだ本式にやるにはどうしても六時間か丶るといふのを、六時間は餘りだからといふので辛との事四時間半でやつて貰ふ事になつた。處が愈々始まつて見ると夜半から夜明け近くなるので、花嫁様は青くなつて了ふ、お客さんは居眠りをし果は横になる程の仕末で、散々の體であつたといふ事である。何の用もなかつた時代の遺物を。今日の忙しい世の中に其の儘適用しやうといふのは馬鹿げた話である。

小笠原流では御飯を食べて了つたらお箸を元の通りに膳の右に置くのは目上に對する作法で、目下に對する場合は御飯の椀と御汁の椀との間に斜めに置くが法式である。昔はちやんと身分が定まつて居つたから、こんな事が出來たが、今日はあの男は乃公より月給が五圓安いから眞ん中に箸を置かうなんてやらうものなら、對手は失敬な奴だと心に憤るに違ひない、それ今日の人はそんな作法がある事すら知らないのである。全く專問家でなければ分らない。

けれどもこれは可笑しな話で、元來禮式といふものは專門的のものではない筈である。對手に敬意を表する方法に過ぎないのであつて、敬意の表示が專門家でなくては分らないなんて、そんな事があるべきでない。誰でもが其の衷情を自由に通ずる事が出來るでなくてはならぬ。

□喫茶の悪癖

日本では來客には先づ必ず茶を薦める客は又必ず別に咽喉が乾いてゐなくとも呑むといふ習慣がある。甚だ非衞生的の習慣で、必要なら請求をするもよからう出す方も請求を待つて出すのはよいが、別段欲しくもない、咽喉が乾きもしないに、習慣で呑みたくなり、自然に呑む分量が多過ぎて、日本人は平生胃液を薄くしてゐるから、動もすれば胃腸を害する

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

お茶は實に國民の健康を害ふことと幾何であるか知れないものである。一體お茶は汚い木の葉に、温い湯をかけて、それを呑むのであつて、黴菌の發生には誠に都合よく出來てゐる。而もそれが本式程ぬるま湯である。元來お茶は支那から渡來したもので、僧の榮西が持つて歸り肥前の背振山に栽培したのが其始めであるが、其澁味に仙味があつて無欲恬淡な所謂風流といふ事に適合したのである。

併し玆にまた滑稽なのは、茶室といふと四疊半で、そして態々圍爐を掘る、立派なお座敷があり乍ら、四疊半でなくては納まらない。けれどもこれは利休は簡易生活の極をやつた人で、其れを平生豪奢を極めてゐるものまでが、四疊半を作らなくてはならぬやうに思ふのは頗る妙なものではないか、立派な火鉢があり乍ら、圍爐を掘るなども餘程どうかしてゐる。殊に水道があるのに態々井戸を堀つたり、甚しきは石を穿つて井戸の眞似をして、水道の水を汲み込んだりしてゐる、嘘僞も亦甚しい。滑稽も亦極まると云はなければならぬ。

□お土産の習慣

徳川時代の遺物にも一つお土産といふ愚な習慣がある。お腹がすいても食べる事も出來ずに、包んで歸らなくてはならぬ。そして第一滑稽なのは、婚禮のお土産といふと必ず車の蹴込みに載せる、口の中に入れるものを土足を置く處に載せるなどは、隨分思ひ切つたやり方であるこの手をつけずにお土産にして持つて歸るといふ習慣は、徳川時代の家長制度の名殘りで、今日は亭主が歸つても妻君はまだ音樂會から歸らぬといふ時代になつて來てゐるのに、土産の必要などありはしない。殊に馬鹿げてゐるのは、自分が埼玉縣の某地に行つた時など、内に歸つてお土産を開いて見ると既に臭氣紛々たる有様であつた。態々東京から取寄せた料理を折詰にして又東京に持つて歸らすので、往復してゐる間に腐つたのである。腐りさうでもやはり持たしてやらなければならないのである。

我々は一切こんな虚僞や虚禮を改めてもつと眞實に有意義に生きて行きたいと思ふ。

會告

正會員會費增額

廓清會正會員會費は、從來一ケ年六十錢（一ケ月金五錢）なりし處、會務發展の必要上、來る四月一日より一ケ年八十錢（一ケ月約六錢七厘）に變更增額致度候に付此段御承認相成候也。

追而、既納の會費に對しては其割合を以て計算し、端數は繰上げて一ケ月分と見做す。

集金は便宜上年二回、四十錢づゝ郵便集金を以て集金する事。

尙機關雜誌廓清は從前通り發行會費御寄附に對し每月進呈す。

大正五年三月一日

廓清會長　島田三郎

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

廓清春秋

北洲

□雛の節句

春、帝の三月、タイムの波は生々の氣青春の歡喜を漲らし來る。枝頭には復活の花笑ひ、飛ぶ鳥雀にも感謝の歌あり、心無き少女、羨望の喜悅を以て、壇上に一夫一婦の雛を飾る。桃の天々たる、其葉蓁々たるも、此子こゝに嫁がざるの女性あり、人生の沙漠に迷ふ也、迷ふの男性も少からざる也、迷へる男女、不良男女、相擁し、相離れて、人生と家庭と國家の雛壇を破壞せんとす。

□彼も人の子

燒野の雉子、夜の鶴、子を追ふの聲に何者か腸を斷たざる、有情無情の涙、哀別離苦の夢、今宵何處にか徘徊ふ。紅粉に何の美かある、綺羅に何の裝かある。高欄曲檻の牢內に、半死の形骸を曝せば、越狼吳貉、今將た何の血をか舐らんとする。

嗚呼。慘たり、憺たり、狂態言語に絶して、弦月轉々冷かなり。彼も人の子、底の底には光あり、救ふべきの手、心ある心はいかに躍らずや。救ひは自ら救ふより急なるはなく、眞なるはなし、眞なるが故に萬の方法あり萬の方法を盡す所、他か救の手は始めて達すべき也。

□敵は金か心か

天は紙幣の雨を降らさず、地は黄金の砂を撒かずして、必迫焦熱のどん底より自己の最後を探れば、天地の寶庫を開くべき、四個以上の鍵あるに驚くなる可し。爾の双手に意義ある活動を與へよ。爾の双脚に有心の歩武を命せよ。爾の中樞の心府に不斷の靈活を點ぜよ。身心一如靈活自在の鍵に、開かれざるの寶庫あるなし。

濫せる哉、此秘鑰を抛ち、直立の人事を棄て、横臥の獸行を敢へてせんとは。禍なる哉、天賦の秘愛を無みして、貞操の絶對權を賣買せんとは。而して公許する政府も政府也。國家良心の權威、將た何處にかある。

人間萬事の敵は、金に非ずして心に在り、獅子心中の虫に在り。

□瞑眩せしめよ

獅子心中の虫とは何ぞ。曰く男女貞操の無視。曰く道義廉恥の無視。曰く人權正義の無視。曰く弱者貧者の無視。曰く人格品性の無視。此虫や、獸王をも倒さゞれば已まざるの勢を以て、日々の新聞に、月刊の雜誌に、單行本に、日常の談話に、双眼の目擊に、千變萬化、威す者は惡鬼の如く、賺す者は天使の如く來りて、我良心と、家庭と社會を蝕はんとす。嘗て、驕る羅馬を倒せし此虫は、今や東洋の羅馬を蝕ひつゝあり。如何に白蟻

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

の大厦を蝕倒するを見ずや。防蝕劑を。發射せよ、瞑眩せしめよ、帝國の人道廓清の主張と實行なくんば、帝國の人道を如何にせむ。

□青年諸君！

汚れざる者は幸也。人道は因て永續すべければ也。勇氣凜凜たる者は幸也。人道は因て保障せらるべければ也。犧牲献身のものは幸也。國家と人道は因て興隆活躍すべければ也。

年々、歳々、花相同じとも、同じき花には非ず。人生も亦、日々の舊衣弊裳を脫却して、靈帽、靈服、靈靴もて白日大道を濶歩すると與に、慈眼愛腸の手は、常に暗所黑所にも徹底せざる可らざる也。

生々の氣、青春の焰、心內心外に燃ゆるの時、諸君は今何をか爲しつゝある、將又何をか爲さんとする。

□情は人の爲ならず

人生行路難しと云ふ、行路の難きは他に非ずして我に在り、我の爲さんと欲する善は、之を爲さずして、爲さゞらんと欲する惡を想ひつゝ、行はんとする紆余曲折の難きに在り、我に克己の鞭あり、我に救援の基督なくんば、我も亦一様の不良兒也、我は小宇宙也、小社會なりと云ふ、自己の小社會ならざる社會に、爲す可からざるの惡を爲すものあり、彼に克己の鞭を與へ、救援の手を授くるものなくんば、彼と、彼の世はまさに黑暗々たる可き也。

同志を求むるは、我克己の版圖を横に擴張する也。鞭撻と救援の事業を實行するは、我と神國の勢力を、縱に扶殖樹立するの秘法也。

將に大に敗頽時代來らんとす

文學博士　中島力藏

歐州の大戰亂の前途は未だ遼遠で容易に逆睹するを許さぬが、要するに此戰爭の後に私は戰慄すべき風紀壞亂の時代が來るであらうと思ふ。

私の考察からいふと今日は確に獨逸が勝つてゐるが、最後には聯合軍の勝利を以て局を結ぶに違ひないと思ふ。而して勝利を得た方の國に風紀敗頽の時代が來るのであつて、獨逸が勝てば獨逸に頽癈時代が來、聯合軍が勝てば聯盟各國の精神的壞敗の時が來るに相違ない。して見ると私は聯合國の勝利を信ずるものであつて、從つて我國にも其恐るべき思潮が彌然として波及し來ることであらうと思ふ。眞に恐るべきことである。

既に今日に於ても、巴里や倫敦の風紀の頽敗は驚く可きものがある、到底日本などの比ではない。併し乍らそれが追々我日本に傳染しかゝつて來てゐる。私は數回彼地に行つて暗黑面を見てボンペイ最後の日が近づきつゝあるのではあるまいかと、戰慄を禁じ得なかつた。日本にも段々婦人の側の墮落の浪が猛烈に押し寄せて來る恐れがあるから、今日に於て豫め之に對する準備をして置かなくてはならぬ其時になつて臍を噬むとも最早遲い。廓清會は實に大切なる運動である。

三面評論

慎默子

親權喪失の上告理由

德島縣小松島町高木せい(四十)の夫は七年前肺病で長男長女を殘して死亡した。可なり資產はあつたが、女の細腕で切り廻し、長男某を大學に入れ何一點の批難も受けなんだ。所謂生理上の變動機と云ふ可き四十歲になつてから堅固であつたせい子は、日が經るに從つて素行が修まらぬやうになり、到頭姙娠の身となつた、親族は此の不始末を嚴しく責めたて、此の不行跡な女を幼者の敎育や子の親權者として託するとは能ぬとて親權喪失の訴をし、一審も二審も女の敗訴となつた。そこで女は上告に及んだ。而も其理由が振つてゐる。私通や私生兒を生んだ事實があつても、隱密の間に行はれたことで、道德や名譽の何たる羞恥を知らぬ行爲でない。それが親權を行ふ上に何の影響もない法律上不行跡と云ふ事は出來ぬといふのである。此女の無節操と無反省を憫れまずに居られないけれど、昔からの所謂未亡人道德が如何程ヒステリックとなつて精神上の變調を來らしむるか、思ひ半ばに過ぐる。因襲的道德の脅迫はかゝる忌はしい誘惑に驅使される傾向を生ずる。法律上から觀れば民法の所謂著しい不行跡は素行の修らぬといふ總てのことを包含するもので、彼は斯くして分娩した其子を自分の體面を保つために犧牲にして所在を明にせず、屆出の義務さへ果たさなかつた。斯うした女がどうして親權の義務が履行されやう筈があらうか。

岡山警察の人權蹂躙

山陽紙が報ずる處にすれば、娼妓留子は肺結核なので、再三岡山署に廢業をなすべく求められたが賴るべない身とて娼妓はそれに應じなかつた。そこで警察は召喚說諭の上廢業させたと云ふ。

我等は警察より召喚廢業をすゝめた例は實に初耳であるが、然れど娼妓のやうに幾多の人々に接するものに取つて結核患者とあつては公衆衛生から云つても然かある可き筈である。然るにそれと正反對に矛盾する悖逆無道の不條理極まる扱いを同紙が報じたのは岡山署のため惜しむ可き事である。同廓楠次が子宮病のため長らく困難し無慈悲な樓主は病人に稼ぎを强ひ、到底全快の見込もたゝず、思ひ切つて自由廢業を申出たが熟考せよと說諭の上引下げたと云ふ。前者は傳染病なるが故に類を他に及ぼすため警察自ら進んで廢業を履行し、後者は傳染ならざるとは云へ本人自ら出頭し、廢業を願出たるに、內務省令を蹂躙し娼妓の自由を妨げた岡山警察の態度を我等は了解するに苦しむ。

男爵夫人の鐵道自殺

都下の新聞は鷲尾男爵夫人セキ子の悲慘なる鐵道自殺を報じた。我等は體面の維持の出來ない華族に今更のやうに同情する。新聞紙の報ずる處によれば男爵夫人の實家は十數萬の資產ある豪農であるさうだ。夫人は十八歲のとき行儀見習のために鷲尾家に小間使として行き、男爵の胤を宿し實家のセキの父は男爵家は貧乏なれど、家柄の高いと云ふ事に迷はされて婚姻を結んだ。男爵家は夫人の實家から年々三百圓の補助を受けて野菜を栽培し、辛うじて其の日を送る程の貧しさで、家計不如意のため實家への無心も度重なつては苦しさ堪へ難く思案に暮れて死ぬ氣になつたらしい。一見女工風の女として村役場で假埋葬されてあつたといふのは男爵といふ肩書に對して一層の悲哀を感ずるが、玆に興味ある問題は、如何に現代の多數が門閥とか家柄とかに囚はれて居るかゞ想像せられることであつて、行儀見習などゝいふ冗らない稽古をさせた爲めにとんだ末路の悲慘を見るに至つた。

新聞に乘つた飛行女

ニコ〳〵俱樂部が飛行機に乘る婦人を募集したに對して、多數の應募者が現はれた。ニコ〳〵子は面白い計畫だと思つたかも知れないが、障害保險まで附けての企てだから危險と云ふ事も承認しての事だと思ふが、何故の目論みかは知らざれど道樂半分と廣告半分と見ればそれでよいとしても、他人に其の危險を冒すのを社會に發表して募集すると云ふ事が果して眞面目な問題であらうか。此の募りに應じた婦人が可なり澤山あつたやうだ。彼等多くは何を目的として同乘を申込んだのであらうか、撰拔された婦人達は遺言狀を認めたとか多くは危險なことは知りながら遺言狀まで書いて飛行機に乘る必要が何處にあろか、物珍らしい氣分にそゝのかされ、浮薄な名譽心に動かされ、何の考もなく一時の虛榮から深い考もなく浮薄な風潮に連られて何でも新奇に走らうとする新人の淵れさよ、

社會改良家の任務

平山凡水樓

一、華族制度の改善

私は一代華族制を主張する。父祖が華族であるからと云つて、其の子孫までが華族でなければならぬと云ふ論理は、どう頭を捻つても出て來ない。本來私は華族など、云ふ制度は無い方が正しい社會組織だと信じて居る。華族は皇室の藩屏だなどと云つて威張るけれども、皇室の藩屏は我々國民全體ではないか。世界中に日本國民程皇室を尊び、皇室を護り奉るの念の厚い國民は無い。皇室の御爲とあらば火も水も物の數ではないと云ふのが我國民性の特質である。「我々は皇室の藩屏だ」などといふ華族の言草は盡忠至誠の國民を侮辱したものと云はれても仕方があるまい。乍併一國の社會制度には相當の沿革がある。此の沿革を度外視して制度の改廢を論ずるのは、所謂書生論である。我が華族制度の由來を稽ふるに、所謂公家殿上人が其の初めをなしたのである。維新後公侯伯子男の五爵の階級を定めて、此の有爵者を華族と稱する樣になつた。授爵の大權は帝國憲法に明記せらるゝ通り、勅旨に依つて授けられるのである（憲法第十五條、華族令第三條）。華族に列せられる者は大凡三種類ある。公家華族、藩主華族、功勞華族即ち之である。前二者は維新の際の社會制度改革の結果出來たものである。斯うしなければ、公家や武家の始末に困るので、舊社會から新社會へ渡る橋として設けられた所の、所謂便宜的過渡の制度である。此の橋を渡り終つて、今や我が日本の新社會が漸次秩序立つて來た今日に於ては、無用で邪魔になる斯んな橋は取拂つて了はなければ不可い。第三の功勞華族、此の制度はあつて大して邪魔にならないし、制度其ものも大して不合理でないから、當分此の儘でも宜からう君國に功勞を致したものが爵位を賜はるのは、惡い事ではない。私の平等の哲理から云へば、理想的の社會組織には、人爲的階級があつてはならないが、世の中が未だ〳〵其處まで進んで居ないんだから、更に善い社會へ渡つて行く爲めの橋として、斯ういふ制度があつても宜い。爵位其ものは元來子供だまし見た樣なものだが、世人の大多數が子供なんだから斯ういふ社會には、爵位は未だ存在の根據がある。

右に述べた通り、私は現代の日本に於ては、華族制度は在つても宜いと認める。併し世襲は不可い。功勞ある者に對して榮爵を賜はると云ふ事は、一應道理のある事であるが、夫れが子孫に及ぶと云ふ事は、少しも道理がない。却つて惰民を釀成する制度である。父祖の功勞で眠食に飽く者は、大概のらくら者になる。今日の華族制度は、實に君國の功臣の子

孫を驅つて遊惰の民となし、依つて社會に濁流を漲らす源泉となつて居るではないか。是れ榮爵を以て功臣に禮遇を賜はる本旨に戻る事ではないか。

制度が不合理な丈けなら忍びもする。夫れが社會生活を害すとなると私共は默つて居られなくなる。私共の生活其ものが危うせられるからである。世人は大して氣にも留ない樣だが、多くの華族等の我儘な生活が如何に暗々裡に社會を濁らして居るかを見よ。酒池肉林に長夜の宴を張つて、藤原氏豪奢の頭領頼長を氣取り得意になつて淫靡の濁流を社會に流して居る彼等は、一般人から華族樣として、殿樣として、尊敬と服從と阿諛と便變とを贏ち得て居るのである。如何に社會を茶毒して居るか。是れを打破して一代華族制を立つるは、社會改良家の尊い責任ではないか。

二、相談會の改革

日本の相談會程飲んだり食つたりするのは、世界中にも餘り其の例がないだらう。其の最も甚だしいのは、政治家と實業家の連中である。何々の相談會だと云つては料理屋に集り、某々の協議會があると言つては飲む。彼等は飲んだり食つたりしなければ、相談が出來ない樣な惡習慣を作つてしまつた。飲食するのは彼等の勝手である。只其の爲めに社會に濁流を漲らされては、傍が迷惑する。飲食丈けで事が濟めば天下は泰平である。不幸にして彼等は二次會なるものに流れて行く。二次會とは賣笑婦に戯れるのを以て其の目的として居るのである。

現代の青年の志望の趨勢を見るに、大抵は、富と名譽を獲ん事である。萬人に向つて、身を殺しても仁を濟すの聖人たれと望む事が出來ないとすれば、富と名譽とに走る者、必ずしも責むべきではない。そして富は實業家の領分であり、名譽は政治家軍人の領分であると云ふ所から、彼等は主として其の方面に向つて行くのである。

此處までは無事である。偖て愈々政治家と實業家となつて社會に活動する段になると、先輩が拵へて呉れた習慣に從つて、やれ何々の會があると云つては料理屋に入り、又某々の親睦會だと云つては茶屋遊びをする。そして彼等は少しも之れを惡い事だと思はない。眞面目に人生を考へて居る人が「さういふ事は止した方が宜からう」と忠告すると「君は世間を知らないからそんな事を云ふが今の世の中は君の樣な野暮では通らないよ」といふ。此の夜遊びをする蕩兒に對して家庭の親なり、妻君なりが不平を云ふと「世間の交際と云ふものがある」と云ふ。彼等は此の交際と云ふ言葉を以て自己の不品行を辯護する唯一の逃口上とする。乍併如何に巧妙な遁辭を用ゐたとて、黒いものが白くなる筈はない。彼等が眞理と正義とを無視したる行爲の結果は、忽ち其の家庭の上に現はれ、社會全般に撥がつて行く。即ち其の人の家庭には冷たい空氣が漂ひ初める。次で夫れが涸濁して行く。そして遂に腐敗するに至るのである。斯の樣に家々が腐敗して行つて、それで社會が健全に發達して行く筈はない。男子が斯んな風に遊蕩兒となつて來た結果、如何に多くの妻君が歎斯的利になつて行きつゝあるか。

此の問題は單に社會問題たるに止らない。實に是人道問題ではないか。今の社會改良に志あるの士は、もうそろ〳〵

此の點に着眼しても良い頃だと思ふ。事務の相談をするに、何も料理屋に行かなくても宜いではないか。今日料理屋待合等が繁昌して、盛んに風俗を亂しつゝあるのは、主として彼等が、之れを以て其の機關として居るが爲めである。現代の政治家實業家は、實に現社會の腐敗墮落の源泉を爲して居る。遊蕩慾を唆り、遊蕩術を敎示して、現代青年の多數を遊蕩の世界に誘惑しつゝあるのは、實に彼等政治家實業家ではないか。此の樣に不品行な政治家や實業家を咎めやうとしないのは、一面から見れば、現代社會の罪である。此の點に關する社會的良心は、今睡つて居るのである。社會改良に志ある者は、奮然起つて社會良心の睡りを搖り覺ますべき秋ではないか。敢て憂國至誠の士の蹶起を促したい。

　藝娼妓の制度を改める運動も、必要には相違ないが、同時に其の需要者の側にも着眼しなければ社會廓淸の目的を達する事が出來ないと思ふからである。

白珠園

日向むき

主しらぬ垣根の花は折りて見つ
さえだもをしき宿の梅かな

□

かよふ香になれにし袖もあるものを
枝のみまもる梅のそのもり

□

紅のこぞめの梅の咲きにけり
きせわたかけよ春のあわゆき

□

思ふまでこそかたからめいかにして
とはぬとだにもとはぬ君かな

□

けさの空の藍ややふかしわがおもふ
宗谷の海をたがいまわたる

われにつくうから悲しや海山の
まぼろし見する冬の夜の月

□

森黒く星しろがねに冴ゆる夜の
しもにみがける十日月あはれ

□

結びづる筧のつららうちとけて
ゆきまの草に春は來にけり

□

山里の春の山こそをかしけれ
軒の玉水うぐひすのころ

□

露しぼり紫鹿の子藤鹿の子
ひがのこ着せむわが歌の子に

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

經濟上より觀たる婦人問題

青山女學院學監　塚本・濱子

人間が生きて行くといふ處に必ず、經濟が伴ふ。既に人間が生きて行くといふ事は事實でありまして、どうして生きて行くかといふと、哲學的や、生物的でなく、經濟學的に二つの生き方がある。縱へば猫や其他の動物の生き方と、人間の生き方と異なつてゐるやうに、一人で餌を漁つて生存して行くものと、人から飼はれて行くものとありまして、大體に於て寄生生活と、獨立生活の二つに分る事が出來ます。

日本の婦人は自分の一生の運命が夫たる人によつて定まり、他人によつて安危を自由にせらるゝ傾向があります。けれども之では、女子自身には何等の權能もないのでありまして、昔から女子が家庭に幽閉せられて來た結果もありましようが、女子は智識の點に於ても、技藝の點に於ても、其他多くの點に男子に劣つて居る事は、爭ふ事が能ませんけれども一生の禍福を他人の手の中に、握られてゐるといふ事が、果して幸福な事でありませうか。之れは極めて大切な問題であつて、人各々、意見の異なる點もありませうが、自分の一生を他人に任かせるといふ實際生活を見る時に、どうしても私は寄生々活の不幸悲慘といふやうな結論に達せずにゐられません。

親達は娘が女學校でも卒業すればすぐ娘を片付けるといふ事を考へる、そして其婿としては、財産があるとか、それでなければ官吏であるとか、軍人であるとか、兎に角何時夫が死んでも、遺族に扶助料があるといふ樣な者を撰む。娘の安樂を圖る人の親の情さもあらうと思ひますが、其の考への裏には實に何んとも云ひ知れぬ悲哀があるではありませんか。

あの人はあれ丈の美しい容緻を持てても誰かゞ養ふて吳れなければ、生活して行かれないといふやうな事では、寔に不安で耐へられませぬ、寄生々活の慘めさを語つて餘りあると思ひます。

□□□□

寄生々活の悲慘は何の生物についても觀る事も出來ます。私の家に猫を飼ふてゐますが、子供がそれを捨てやうかといふて話して居るのを聞いた事があります。私はそれを聞いて、寄生生活の悲慘を思ひ日本婦人の身の上に想到して、ぞつと冷水を浴びせられたやうに感じました。即ち寄生々活に於ては、いつ捨てられるか分らない、根底のない生活です。日々の新聞紙を見ますと樣々の慘事が、現はれてゐまして他人の力によつて、生活するといふ寄生々の悲哀が曝露されて居ります。何時賴りにして居る保護者が自分を見棄るとも限らない、その不安さて其時はどうして生活しやうかとの煩悶は、寔に憫れな身上でありまして男子にしろ女子にしろ獨立といふやうな精神

のないものは、不安の念がたべまなく、從つてほんとうに自分の德を磨き人格を高くする事も出來ない。家庭の不和の絕間ないのも所以ある哉で、獨立の能力なきものは常に其人格を冒瀆されるのです

□□□□

そこで女子と雖も經濟上の獨立といふ事を考ねばなりません。ある學者が女子は子供を育てねばならぬ天職があるから家庭の中に居らねばならぬと申されます併し夫は一定の時期の事であつて、一生涯を通じての謂ひにならない。何人でも自分一身は、自分自ら處理し得る能力を有つてゐなければならぬ。人生婦人の身となる勿れ一生の苦樂他人によると伯樂天が申しましたが、一生他人によるやうでは婦人には努力も向上もない譯です。

中學生と女學生とを比較して見まして、向上の精神に月鼈の差があります。男子は自分自身の進路を開拓しなければなりませぬから、誰を見ても火の樣な向上の意氣を見ますが、婦人は嫁に行く其事が目的ですから何の意氣もありません

譬へば私共の學校へ、高等師範川の男女の敎員が赴任なさる、初めは男も女も一年ばかしはめざましい働きをされる、それが一年たち二年たつと男はだん／＼熟練して昨年より今年といふ具合に、明かに進歩しますが、女子はさうは行かない、男子は今度轉任したら校長にならうとか敎頭にならうと思ふてゐなさる野心、希望もありませうが、要するに男は一生の仕事として努力されますが、女は嫁に行くといふ事があるために、家庭を持つてから裁縫に困るやうではいけない、今の内に羽織のお稽古をして置かうとか、茶の湯や、花生を研究しやうといふ氣になり一生の苦樂他人によるといふ、自分の運命を人手に托する依賴心のため、研究心が乏しくなつて、二年三年となつても一向發達しないで男子の敎師と非常な差が出來て來ます。

□□□□

動物學を調べて見ても眞闇の處に住まつてゐる鳥には眼がない、見る必要がないから退化して了つたのであります。一生の苦樂を他人に委ぬる生活は退歩するのみです。經濟上から考へて見ても、責任といふ事を考へると女子も男子も、確かとした人格を有し、男子までに行かないとしても寄生々活から脫して、經濟上の獨立を計る必要があると思ひます。一朝一夕に其因習を打ち破る事は困難でありましても、將來に於て決して其實現は不可能ではありません。一生の苦樂他人にするに非ずして自分は『なし得るといふ自信』を持つ事が必要であつて、その抱負のないものは、經濟上の獨立は六ケ敷しい。

ある學者は婦人が經濟上獨立すると結婚を忌避するといふ惡結果を生ずると申します。或はさうかも知れません。併し男子が夫丈自覺せられたならば決して心配す可き事でないと思ひます。女子が男子と一定の職業を持つといふ事は、大切な事であつて、女子敎育上疎かにすべき問題でない。私の今日迄の僅かの實驗の結果によると婦人が既に家庭にのみ居て子女を敎育するよりも、却つてある程度まで子供を遠ざけた方が良結果をあげ得ると思ひます。兎角馴るれば禮を失すると譬がありますが、あまり馴れ過ぐれば注意を怠る恐れが多い。婦人は今少し家庭から解放せられ自分を練磨する事が、育兒上にも必要であります。自分の子供の敎育にも・人に賴らずなし得る處まで進歩して、寄生々活から脫するならば、家庭の幸福は却つてそこから生ずるであらうと思ひます。（文責記者）

數字上より觀たる吉原遊廓

救世軍婦人救濟係　大尉　伊藤富士雄

嗚呼悲慘なる哉、社會は大都會の中央に人工の地獄を造り、幾千の生靈を犧牲として之を囮とし、一度茲に足を踏入れたが最後、血を吸はれ肉を削られ、其の家庭に慘劇を演せしめて、老母の自殺となり、貞婦の離別となり、幼兒の浮浪となり、波及する處殆んど圖り知るべからざるものがある。天は五年以前祝融をして一度此地を烏有に歸せしめたのであつたが、奸惡なる徒ば再び舊に數倍する堂々たる地獄を作つた。今此の地獄を數字上より調査して、赤裸々にすれば左の如し

貸座敷總戸數、百七十二戸。

此總坪數（一、二、三階を通じ平均に延長して）

三萬四千六百六十二坪一合八勺二

耐火防禦建築規則による右坪數を、一坪平均百三十圓と見積れば

右價格金四百五十萬六千八十三圓六十九錢九

引手茶屋戸數、四十四戸

此總坪數　千四百八坪四合二勺七

右は平均一坪百圓と見積り

價格金十四萬八百四十二圓七十錢

合計金四百六十四萬六千九百三十六圓三十九錢九厘

大正四年十二月三十一日現在登錄娼妓の二千四百九人に對し、衣類其他室内の器具、一人身付金二百圓と見積

金四十八萬一千八百圓

大正四年四月一日現在二千四百八十八人の娼妓に對し、樓主の貸金總計

金八百四十萬三百二圓

此の平均前借高は一人、三百三十七圓六十三錢

之れを現在數二千四百九人に乘ずれば

金八百十三萬三千五百七十二圓十五錢

總計

金千三百二十六萬二千二百九十八圓五十四錢

これがつまり吉原の富である。これに對して遊客の一年間總數は

大正二年　百十萬六千五百十九人

大正三年　九十八萬七千五百五十三人

大正四年　九十九萬七千七百三十七人

にして、遊蕩費大正二、三、四年の一ケ年平均費消額は

二百十二萬六百七十三圓

にして、一人の平均費消高は二圓五錢である。但し、遊興費の中には、妓夫や鴇母、番頭等は無給料であつて、元より遊客の祝儀を收入とするものであるが、これは此の計算の内に加へられてゐないものたる事を承知して置いて貰ひたい。

一ケ年の新しき犧牲たる、娼妓の名簿登錄數は、大正三年に於ては、五百九十九人で、此前借總高は百八十六萬六千六百九十圓で、最高千百七十圓より、最低は僅に七十圓で、而もやはり六年間檻の中で責められる契約である。

大正四年に於ては五百六十二人新しく入獄し、其前借總高は百八十一萬四千七百二十圓で、最高九百圓より最低七十圓である。茲に見遁すべからざる事實は、物價が年々騰貴し、人の給料も上る一方であるのに拘らず、前借高は却つて年々低下の傾向ある事である。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

私娼政策と龜戸町

大石枕月

龜戸！　龜戸！！　梅花馥郁として芳香を放ち雅客杖を曳いて月に嘆じ花に笑ふの風流や、殊勝なる善男善女が信神の赤誠籠めて神詣せし清淨の天神が星遷り物變りては時代の惡風俗に感染し醜氣紛々として鼻を掩ふに到り、其昔床しきおもかげさへ留め得ざるこそ是非なき次第也。

二十餘春秋玆に長たる府會議員鶴岡英文氏、野原を起興して今日あらしむ、吾人は其物質上の效蹟を否認するものに非ず否寧ろ感謝しつゝある也、感謝すると同時に質朴風雅の淨土を殊更に魔窟とせし氏の罪惡をも共に責めざるべからざるこそ誠に遺憾の極なれ。

龜戸町の工業地として繁榮せるは自然の成行の然らしめたるものにこそ。都市擴張は何れの市を按ずるも趨勢必らず府下に及ぶものなり、さればにや正政以て自然のまゝ、放任するも今日龜戸町の工業上の地位ある事寧ろ當然の事也。

何ぞ殊更に天神裏に銘酒屋即ち私娼政策を施すの必要あらんものを、事の原因を探究すれば、何れにもあり勝ちな、土地有力者(所有者)の專横と、一は模範町村が税金額によるの規あるにより鶴岡氏が效を急ぐの功名心に歸因せずんばあらざるなり。

鳴呼敬愛なる氏よ、氏が我輩に語られたる談話中にも浮華輕佻の風に染み今は土地を耕作するものさへあるなしと、此の不眞面目の原因は、此私娼政策の影響なり、人倫頽癈の汚瀆なり。模範町村とは只單に事の善惡に拘はらず一定の税額に達すれば可なりといふ事にてはあらざるべし、一定の税額は其他の繁榮を見るべく、滯納者なきは良風善俗の象徴なるべし、即ち模範町村は一定の税額の後に良風善俗の裏書を要し正經正道又之れに伴ふべし、裏書存在して始めて模範の價値存在するものにて、爲政者の意も玆にあるものに外ならざるべし。然らざれば泥棒して富を作るも模範といひ得らるゝに到るべければ也。

故に氏が推思せらるゝ様に私娼制度は模範町にするにあらで惡町となるべく、又氏が云爲せらるゝ如き土地繁昌策にもあらざるべし。何となれば眞面目なる工業會社は社員職工の風紀を慮り却つて他を選擇すべければ、反對に衰退策となるも絶對に氏の思惑に副はざるべし加之此制度の爲め鶴岡氏御身の人格を瑕くる大なるものあり、斯くいふ我輩などの耳に入る一再ならず、殊に水害の節地租税を免除し、營業税を免除せざりし事は尤も不平あるらし。即ち地租は土地所有者也、所有者は有力者のみ、富たるものは少々位の損害に痛みを感ぜず。

然るに一般的なる營業税を免租せざるは誠に横暴なり、殊に銘酒屋政策は土地所有者の値上策に出づると。支那の玄宗皇帝色を重じ、爲に國人女子を生むを尊び男兒を生むを卑むと。私娼制度が如何に土地の人民の風紀を汚瀆するか序上述べたる如し、百害ありて一益なき魔窟政策の撤廢を貴町の爲め御身の爲め且亦國家社會の爲めに老婆心如斯。

鶴岡英文氏足下人の口は誠に夏蠅きものにて御身に對しある事なき事虚實風聞す。貴下の御人格決して風聞の如き事あるなからんも、煙の擧る所火ありと畢竟魔窟政策より出づ。上の行ふ所下之れに倣ふ御注意然るべき也、何れ約に基き府會の私娼撲滅運動の模様及公娼に對する意見を承るべし。

□聖パウロ□　フレデリツキ、マイアズ作

齋藤勇譯　定價五十錢　丁未出版社發行

この長詩の著者マイアズは天才が多方面の人である、又動搖の人である、隨つて内部の生活の歷史は甚だ興味に富めるものがある。著者はパウロの心情に共鳴し深秘の詩が本著である。決して解り易い詩ではない。篤學にして學ぶ所に忠なる文學士齋藤勇君によりて此書が世に現はれるのは譯者に對し感謝せねばならぬ。譯者は叮嚀に明麗なる序說と梗概及概評を草し、更に卷末に注解を加へ、殆んど他に比類なき深切を以て世に紹介された。四六版十六三頁(愼)

□聖書日々實行訓　中尾淸太郎篇

定價一圓　銀座書房發行

故小林ライオン翁は、日々生命の源泉として聖書に親み、品性を鍛練せられたるが永眠のとき朱書の聖書がある事を聞いてゐた、中尾氏によりてその餘白に記された感想の中から一冊にまとめ、年中必讀玩味するやふに集められたのが此聖書日々實行訓である。故人の偉大なる風貌が偲ばれ修養の好侶伴たるを失はぬ。(愼)

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

最近の廓清運動

白百合子

□牛込方面新年會

一月二十九日(土)午後七時、牛込區辨天町友愛學舍に於て、理事松宮彌平氏、牛込支部幹事江守昭氏治部茂氏等の熱心なる斡旋により、牛込、神田、麹町、四谷、小石川方面在住會員の新年茶話會を開く宮田脩、高島米峰、福島四郎、油谷治郎七、伊藤富士雄氏等の役員諸氏を始め來會者約五十名、治部茂氏の開會の辭に次で、伊藤富士雄氏娼妓三百人研究に就て所感を述べ「如何にして健全なる男女交際の道を開く可きか」の研究題目下に、宮田氏はスパルダとアゼンスの男女交際に就て最も有益なる講話を試みられ、續いてガントレット夫人は自分の監督せる男女學生の實驗上より意見を述べ、高島氏これに反對し、油谷氏調和的意見を述べて局を結び、伊藤秀吉氏は將に東京市に敷かれんとする散娼制度に就て說明する處あり、ついで宙返り飛行家ナイルス氏の通譯たる某氏(逸名)は立つて、熊本に於るナイルス氏歡迎會の席上に、十四歳になる雛妓に裸體踊りをなさしめたる同地の紳士の卑陋無恥を憤り、ナ氏に慚愧に堪へざる旨を述べて所感を問ひたるに、ナイルス氏は答へて、東京に於て余の見聞したる處に比ふれば斯の如きは未だいふに足らずと答へたとて日本人の道德の實に低級なるを慷慨して、坂本三郎氏亦所感を述べ、江守昭氏は、廓清會は餘りに公娼問題に對して偏するの嫌ひあり、廣き意味の廓清を望むと希望を述ぶるや、福島四郎氏直に之に贊成を表して、廓清會は救世軍と同視せられてゐる、昨秋の大運動も大正會の名を用ひて成功したるが如きは即ち廓清會の名が既に餘りに色彩を帶び過ぎて臆病なる官吏、教育家の提携し得ざる處也、之はよろしく、卑近なる實際問題に向つてもつと奇々矯激の實を擧げて教育家などと提携して行くやうにしたいと說き、油谷氏は然らば其實際問題とは如何なるものかと問ひ、家田作吉氏更に贊成の意見を述ぶるや、曾根正毅氏は廓清會の成立の由來より說き起して公娼問題に全力を注ぐ可きを希望し、公娼問題を曖昧にするに於ては廓清會の本領を沒するものにして、吾人は寧ろ退會せん、諸般の些々たる風教問題は、先づ公娼問題を解決したる後に於てすべしと論じ、大石末吉氏は更に曾根氏の少數意見に贊成論をなし萬俵賀一氏は、醜業婦問題は男子が彼等を要求せざるに至つて始めて根本的解決をなすもので、積極的に道德を高むる運動を盛んにすべしと述べ、最後に伊藤秀吉氏は、廓清會は過去に於て積極消極の二方面とも運動をなし來つた、消極的の運動は積極的の運動を促進する爲めに必要であり、此意味に於て公娼廢止の外科的療法も忽せにしてはならない。第一義的に云へば勿論道德を振興して人心の内部から改める根本的に進む事は勿論必要であるが、同時に第二義の惡俗を打破する破壞的方面と相俟つて其目的が促進せらるゝ、宗教家は傳道が第一義であるが第二義の社會運動にも力を入れると同様、二つながら必要であらうと思ふ。尚諸賢の高教指導を乞ふと結びて、第一部を終り、餘興に入つて高島米峰、油谷治郎七、伊藤秀吉氏等の煎餅釣に腹をよらせ、和氣靄々の裡に十時半閉會した。

□宮崎支部の發會

二月一日(月)午後七時、宮崎縣宮崎町に於て西内天行氏の熱心なる努力により宮崎支部發會式を擧ぐ西内天行氏開會の辭を述べ、益富政助氏「廓清會の主張」の題下に雄辯を揮ひ、松尾氏、野井氏、岩切氏、赤井氏等の祝詞あり、堀内縣知事は特に下部學務課長を派して祝辭を代讀せしめ、大隈伯、森村男、島田會長の祝辭ありて、十時半閉會。

祝辭

廓清會は深く現代に於ける社會道德上の欠陥に憂ふる所あり、進んで之が救濟の事業を經營し、茲に本日を以て當地に支部を組織す。慶祝すべきなり。希くば將來健全なる發達を遂げ、以て忠良の國民を養成する上に於て其効果を收めんことを、一言を述べて祝辭とす。

大正五年二月一日

宮崎縣知事 正五位勳四等 堀内秀太郎

祝辭

現代に於ける我國社會の著しき欠陥は男女道德

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

の頽廢にあり、抑も健全なる國家は健全なる家庭を基礎とし、健全なる家庭は健全なる夫婦關係より成立す、我廓清會は一夫一婦の天地の大法に遵ひ男女共に貞潔の德操を嚴守し、以て家庭を純潔にし、以て社會を廓清せんとするにあり。

宮崎支部は九州地方に於る本會運動の先驅にして予が同會に期待する所のもの甚だ大なり、切に望むらくば會員諸君の奮勵努力により如上の目的を完全するに至らんことを。

廓清會長　島田三郎

祝辭

國家の深憂大患は實業道德の振起せざるにあり家庭風紀の紊亂にあり、男女貞潔德操の缺如たるにあり、予は實に此問題を顧慮する每に帝國の前途に對し潸然として憂國の淚に咽ぶを禁ずる能はず、而して此國家社會の根本問題を解決するもの廓清會の運動に俟つこと多し、予は九州の一角に本會支部の設立せられて暗夜の明星たらんとするを祝せざるを得ず。

希くば宮崎支部が地方風敎刷新の先驅者たり指導者たるに至らんことを、切望に堪へざるなり。

廓清會顧問　男爵　森村市左衛門

祝辭

男女貞潔の德操は人倫の根本なり、廓清會は此人倫の根本に培かひ、以て國民の品性を向上し、以て風敎刷新を企圖するに在り。今や日本文明の起點たる皇祖發祥の地に於て、廓清會支部の發會式を擧ぐ、世道人道の爲め最も祝すべき事となす。

冀くば官民共に同心協力、本會の目的を貫徹するに至らんことを。

廓清會顧問　伯爵　大隈重信

尙其他、矢島楫子女史、安部副會長等よりの祝電あり、渡邊榮太郎氏、西内天行氏、高橋竹千代氏の三氏を委員に、堤長發氏、岩切覺治氏の二氏を相談役に推薦就任せられた。健全なる發展を祈る。

□廓清矯風聯合大會

二月十二日(土)午後六時半神田靑年會館に於て婦人矯風會と聯合主催にて矯風大演說會を開く。伊藤秀吉氏開會の辭を述べ、第一席向軍治氏は『徹底的生活』の題下に、日本人の不徹底なる生活を痛罵し、第二席內ケ崎作三郎氏は『人生の鼓吹者』と題して別項の如き演說をなし、第三席新歸朝の哲學博士有馬純清氏は『米國の醜業婦問題』と題して同地の狀態を報じて邦人の反省を促し、第四席、矢島楫子女史は『故人を弔して時弊を論ず』との題下に、禁酒會長安藤太郎氏夫人文子女史の面影を偲んで聽衆を感動せしめ、第五席山室軍平氏は『娼妓三百人研究』と題して別項の演說をなし、第六席油谷治郎七氏は民族衞生と題して人種學上より最も有益なる演說をなし、十一時散會した、聽衆約七百名、入會者二十名、入場料二十六圓十錢を得た。

□中野町に於ける演說

二月十九日(土)午後七時、長野縣中野町、劇場東座に於て演說會を開く。此地は昨年自由廢業に就て暴戾なる警察の處置ありし地にて、此演說會も實はこれに對してカナダ、メソヂスト、ミッションが憤激し、宣敎師ホワイチング氏より本部への切なる請求によつて開く事となつたのであつて、油谷治郎七、伊藤秀吉の二氏の出張を見るに至つたのである。されば同地警察は少からず此演說會に恐れをなしてゐる樣樣であつた。中野町敎會の齋藤久牧師開會の辭を述べ、伊藤秀吉氏は『娼妓生活と自由廢業』、油谷氏は『世界の大勢と我風紀廓淸の急務』と題し各一時間餘に亙りて熱心なる演說を試み、十時半散會した。來會者三百名、殆んど滿員の盛況にて活氣堂に滿ち、卽時入會者二十名に及び、近く支部の設立を見る筈である。

□須坂町に於ける演說

二十日(日)午後八時、長野縣須坂町メソヂスト敎會に於て開會、ホワイチング氏の獨唱の後、伊藤秀吉氏は『藝娼妓問題』に就て、油谷氏は『民族改良』に就て雄辯を揮ひ、新入會十五名を得て、十一時閉會した。來會者百名、場に溢れて門外に佇む者少からざる盛況であつた。此地に於ても遠からず分會組織の豫定である。

□長野市に於ける演說

二十一日(月)午後七時半、長野市メソヂスト敎會に於て開會、牧師北澤氏開會の辭について、伊藤秀吉氏は『公娼廢止論』と題し、一時間餘、油谷氏は『世界の大勢と日本の風紀問題』の題下に、一時間半に亙つて熱心に廓淸の必要を說き、十一時散會、來會者約百五十名、卽時入會者十七名に及んだ。

尙長野市に於て二氏は赤星縣知事を訪ふて其主張を述べ、三新聞主筆と會同して意見を交換した。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

熱血紅涙

■木村工林君（神田） 前略、去二十九日夜の牛込支部新年茶話會に出席して、左の如きお話を致度く草稿迄、持參して諸名士の御話の濟むのを控へて居る内、餘興の爲め立ちかけた私の話は中止を申渡され殘念でした。幸い貴殿が書面でとの事故、只今茲に其要旨を述べます。

皆さん、種々本部へ要求なされますが皆さんがたも石炭の燕きかゝりし汽船へ、全速力を進めろと等しく、事業の手を廻すは、一つは金力にあります元來私は、印刷製本に緣のある業を廿年も續けて居る處から、正會員の私へ送てくる雜誌が、何程掛るか一寸値積りして見ましたら驚きました。何卒一寸御聞き下さい。

注文部數を千部として

表紙及び表紙裏	中味廣告の部を取り去り三十二頁として
印刷料 一、五〇〇圓	印版料 六、〇〇〇
紙型代 一、〇〇〇	紙型代 六、四〇〇
紙代 三、五〇〇	紙代 一〇、〇〇〇
植字料 一、二〇〇	植字料 一六、〇〇〇
製本料一部三厘として千部 三、〇〇〇	

合計金四十九圓六十錢也

此値積は今後三日間有効、三日間經過せば、保證出來ず。御承知の通り昨今非常に暴騰しつゝあり。

有金高を一部に直せば、金四錢九厘六毛となる。之に送付用、包紙、ハトロン、郵税金五厘を加へて考へると、どうしても本部の財政が立つて行かないと、茲に一言申した次第であります。

■■井一君（東京） 紙面改良大賛成です前から考へて居た事だから躊躇なく賛成します。それと同じに一會員として、希望を述へますならば、廓清は單に吉原廓清に熱中した社會全般の廓清でなかつたやうです、男女問題を第一に解決すべきものかも知れないが、併し廓清すべきものが多くあるやうです、それで男は女に對してのみの男ではない、女は男に對してのみの女でない、問題はまだ〳〵ある筈ですが一つに停滯して他を捨て置いてはならぬ、廓清はあまり急進的であて一直線に進みました、迂回線が反つて近いとのあるのと同じに完全を望むなら、新議も可なり、修補も可なりです、もつと滋養分のある糧を求めたい、殊に欲するも可なり、然れど吾等今一人满して居るではあるまいか。

■尾花新造君（東京） 編輯後欄、雜誌振張についての事賛成なれど頁數增加より、其得たる額にて他に使用せられん事を。

■伊月要一郎君（京都） 本會の發展と會員の增加とは不肖及ばずながら日皆の運動致し度存じ候得共何分御了知の通り長時間の勤勞と身體の疲勞とのため十分の運動致し兼候次第斯く申すも好機會も有之候はば日々思ひ居り候小生の如き片田舍に居るものは公開演說に參會する時間をも有せざるものに取りては雜誌にて諸名士の高說に接するのを唯一のたのしみとし居候

■植木幹君（千葉） 廓啓省會の活動は着々功を奏し誠に愉快此事に候小生も貴會のため一生懸命奮闘致し居り候處、警察官より中止され候に付き、會員勧誘致し居り候處、貸座敷者排斥を絶叫し、警察官より中止され候に付き、警察官は貴會の運動に干渉する權利之有候や御伺申上げ候。

記者曰 斷じて警察官などの干涉を受く可き理由はありません。我々は正義を主張し人道を鼓吹する者です。

■白井爲次郎君（山形） 去る廿五日當地鶴岡座に於て公娼廢止の大演說會を開き數多の聽衆に公娼制度の不正なる理由を說述し此後尙引續き廢娼運動を試み度存居候辯士は左の通りに候、菅井透非（新聞記者）岩本成直（實業家）世頭定治（新聞記者）マッコレ（宣敎師）池田龜之助（牧師）白井爲次郞（牧師）

記者曰 何時も社會風敎のため貴下の特別なる御盡瘁を國家と人道の爲めに感謝して居ります。

■楠野貴逸君（牛込） 本日早稻田大學雄辯會主催の都下大學聯合演說會を同大學大講堂に開きました。而して不圖我廓清會の主張に對する反對者を見出しました、即ち『道德の害に無神經なるは靑年の恥辱也』との演題によつて述べられたる早修大學生佐藤某君の說であります。同君は嘗て發表されたる安部先生の『大正五年を迎へて我徒の覺悟を述ぶ』の說を猛彈的に論破し去りて遂に公娼官燈を主張しました。素より此說の非常識なる事は明白でありますから聽衆は一齊に反對しました、是は一個の微力なる靑年の口より出たる書生論に過ぎませぬか、然し乍ら如斯き不眞面目なる議論若くは思想が現代靑年の一部の者によつて發表せられたのを私は遺憾に思ひます、然し之も何かの御參考になりはしないかと

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

思ふて御知らせ致します。

■木藤冷劍君（豊橋） 「編輯の後」の一文に廓清會員が啻に購讀者に過ぎず運動も宣傳もせぬといふのは誠に殘念な事である、往年救世軍が倍增人一人運動といふを開始して多くの兵士を作つた實例によつて此際會員双互に必ず讀者否會員募集に努力して頂く事を望む斯すれば現在の誌數の增加位は最も易き事で、私は從來は購讀者に過ぎず殆んど眠つて居た者様ですが御大典紀念として大運動を開始して大に社會の與論を喚起せしめ、一般社會に「廓清會」の存在を知らしめたと同時に豊橋空前の人道戰となつて、新年に入つてから娼妓に對する待遇方法に就て廿ケ條の條件を具して貸座敷業者に迫り、一方には自廢を勸說し一方には「放蕩諫止運動」を始め一般青年は夜分になると廓道路を恰も勇士が戰場に向ふやうな威勢で遊廓へ通ふ多くの青年子弟があり、休日には師團の兵士が白晝續々と入り込む、遊廓側は榮策として軍人優待法とて金參拾錢均一として奬勵を畫策しつゝあるは寔に慨嘆に堪へぬ次第である私は之等の徒に對して「遊興者への强意見」「青年への忠告」と題する印刷物を作りて頒布し社會風紀廓清に努力すを決心して大々的に矯風に力を注いでゐます斯くして一方會員を募集して一大團結を計り本會の主意宣傳に助力し、以て惡魔の城壁を突破したいと考えます。又雜誌會費値上は私は大贊成です。皆さんの意見を操合したとよろしく御定め下さる事を御願ひ致します。

■小林隆君（石川）雜誌値上げば大贊助です。そうして、内容の充實を計り大いに廓清主義の宣傳に力をそゝいで下さい。

編輯之後

▲本月號に於て最も悲しい報道は、加藤博士の逝去であります。先生は全く吾人と志を同うし、而も非常なる熱心を持つて居られました。動もすれば本會が基督教の運動の如くに解せられ、一部に毛嫌ひせられて居つたに對し、先生が役員の一人として本會に盡粹せられつゝある事は、容易ならぬ勢力であつたのに、高齡の事故止むを得ないが、追悼敬慕の情に堪へぬ。

▲島田會長は議會開會中で大分お忙しいが、健康は以前よりも旺んである。目下同夫人が御病氣であつて我等は御全快の速ならん事を熱禱して居る。

▲益富理事も九州に於てチブスに罹り、熊本縣人吉病院に入院治療中で、大分御輕快の樣子である。爲めに木藤冷劍氏の盡力によつて開かるゝ豊橋市の演說會に臨まるゝのは延期になつた。國家の爲全快を祈る。

▲内ケ崎理事は、今回統一教會牧師を辭し、自由基督教會のため專ら盡さるゝ事になりました。後任には三並本會評議員が就任されました。

▲油谷理事は伊藤主事と共に長野縣下の遊說を試みられ、好成績を收めて歸られた。

▲二月號の「數字上より觀たる全國の風紀狀態」は、隨分社會の注目を惹いた。小僧の眼についたものだけでも東京に於ては、萬朝報を始めに、朝日、國民、時事、世界、每夕、都、及東洋經濟等に掲載され、地方新聞では、京都の中外を眞先に、靜岡・新潟、名古屋等に於て見たのみならず松江の松陽新報は四日間に亘り山陽新報は二日間連載して居つたから、其他にも隨分あつた事と思ふ。確に風紀問題に志ある者には研究上の好材料であつた。伊藤主事は更に次號に於て陸軍省から便宜を得られたので、花柳病の統計を出される筈です。

▲山室軍平氏の「娼妓三百人研究」も、屹度大もてに方々に轉載せらるゝ事と思ふ。

▲伊藤大尉の、吉原の數字も隨分珍らしいもので、やはり、世間の注目を惹く事でしやう。

▲本誌は愈々四月一日から値上げを決行する事にしました。從つて別項會長の廣告にある通り、會費を年八十錢といふ事になりました。一ケ月にしては僅に一錢七厘の値上げで、殆んどいふに足りません。會員諸君は喜んで、本會事業の爲め一ケ月一錢七厘の値上げに同情し快諾を與へ下さる事と思ひます。集金は便宜上年二回四十錢づゝ郵便集金で頂くやうにしたいと思ひます。前金で直接に拂込み下さる事を得れば何幸ひです。（編輯小僧）

大正五年三月一日納本（每月一回一日發行）
大正五年三月一日發行　一部定價金六錢

編輯發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　神田區三崎町三丁目一番地　上村龍之助
印刷所　神田區三崎町三丁目一番地　博信堂印刷所
發行所　芝區三田四國町二番地廓清會　廓清發行所
電話芝五八五五番
振替東京三七〇七二番